# LIXIL ソラエルⅡ アーキデュオ(ワイド) 本体編 取付説明書

●この度は、当社商品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、商品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)に従ってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

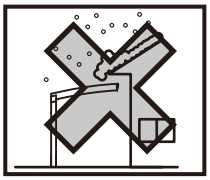
| 安全に関する記号 | 記号の意味 |
|---|---|
| 警告 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。<br>●商品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。 |
| 注意 | ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う恐れのある内容、または物的損害の恐れがある内容を示しています。 |
| 一般情報に関する記号 | |
| ポイント | ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。<br>●守っていただかないと組み付けができない内容、または商品全体に後々不具合が発生する恐れのある内容を示しています。 |
| ※ | ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。<br>●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。 |
| 補足 | ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。 |

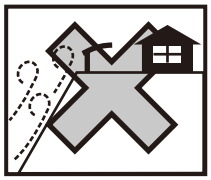
**※商品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。**

## ＜施工の前に＞

**注意**

●商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●当商品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
●積雪(新雪)20cm（一般地域用600タイプの商品で、比重0.2の場合、積雪（新雪）30cm）を超えない地域に設置してください。
●建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。





●給湯器や暖房機等の熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒の恐れがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。

**ポイント**

●給湯器や暖房機等の熱排気が商品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。

## ＜基礎工事について＞

**注 意**

●基礎部の埋込み深さは商品ごとに決めていますが、現場によって(軟弱な地盤等)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上する恐れのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損する恐れがあります。

**ポイント**

●モルタルやコンクリート等が商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ＜施工上のご注意＞

**注 意**

●柱の移動は当社指定範囲内にしてください。当社指定範囲外で施工された場合、商品の強度を保持できなくなります。
●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、緩まないように締め付け固定してください。守られない場合、商品の破損の原因となります。
●φ4ネジの締め付けは1.5N・mで行ってください。
●φ5ネジの締め付けは3N・mで行ってください。
●M8ボルトの締め付けは13N・mで行ってください。
●アルミ商品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとアルミの腐食が起き、外観不良・強度不足の原因となります。
●商品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。守られない場合、商品の破損の原因となります。
●水濡れの恐れがありますので、指定の個所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のヒビ割れ等の恐れがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
●FRP板はポリカーボーネート板に比べ割れやすい素材ですので、落したりぶつけたりしないでください。

| シーリング材メーカー | 品名および品番 |
|---|---|
| 信越化学工業 | シーラント72 |
| モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ | トスシール380 |
| 東レ・ダウコーニング | SE960 |

ポイント

●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

## ＜施工の後に＞

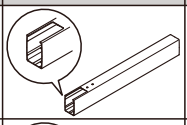
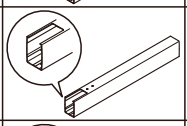
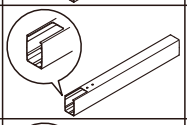
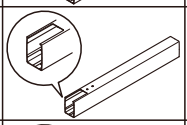
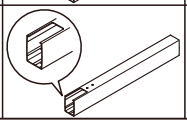
●取扱説明書はお施主さまにお渡しください。

# INDEX


1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部名称…… 7
　1．各部名称…… 7
　2．基本寸法…… 8
3　断面納まり図…… 10
　1．間口方向…… 10
　2．出幅方向…… 12
4　事前確認…… 14
　1．埋設管立ち上げ位置の確認…… 14
5　本体の施工…… 16
　1．基礎の施工…… 16
　2．事前準備…… 17
　3．柱の建て込み…… 19
　4．梁、端部アーチの取付け…… 22
　5．前枠・後枠の取付け…… 24
　6．中間アーチの取付け…… 26
　7．前枠コーナーキャップ、中骨の取付け…… 28
　8．屋根材の取付け…… 30
　9．アーチカバーの取付け…… 31
　10．端部アーチ側枠、コーナーキャップの取付け…… 32
　11．竪樋の取付け…… 34
　12．コンクリートの打設…… 35

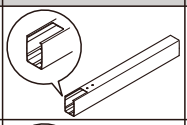
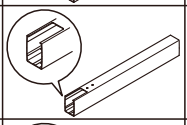
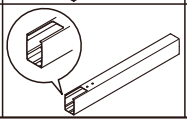
# 1　梱包明細表

【1】柱セット(標準)

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| 柱A 50型(補強材なし)<br>L=2988 ※1 |  | 2 | – |
| 柱A 57型(補強材なし)<br>L=2988 ※2 |  | – | 2 |
| 柱B 50型(補強材なし)<br>L=3218 ※3 |  | 2 | – |
| 柱B 57型(補強材なし)<br>L=3218 ※4 |  | – | 2 |
| 柱C-2(補強材入り)<br>L=3477 ※5 |  | 1 | 1 |

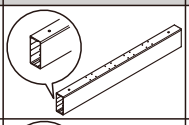
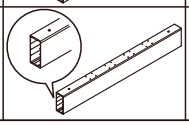
※1　柱A 50型は、L50タイプの柱（水下）に使用します。
※2　柱A 57型は、L57タイプの柱（水下）に使用します。
※3　柱B 50型は、L50タイプの柱（中間）に使用します。
※4　柱B 57型は、L57タイプの柱（中間）に使用します。
※5　柱C-2は、L50・L57タイプの柱（水上）に使用します。

【2】柱セット(ロング)

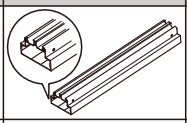
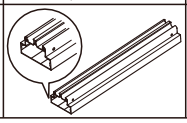
| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| 柱C-2 50型(補強材入り)<br>L=3477 ※1 |  | 1 | 1 |
| 柱C　補強材入り<br>L=3477 ※2 |  | 1 | 1 |
| 柱D　補強材入り<br>L=3218 ※3 |  | 1 | 1 |

※1　柱C-2は、L50・L57タイプの柱（水下）に使用します。
※2　柱C 補強材入りは、L50・L57タイプの柱（中間）に使用します。
※3　柱D 補強材入りは、L50・L57タイプの柱（水上）に使用します。

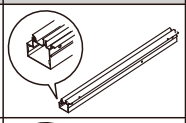
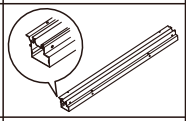
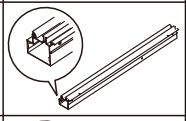
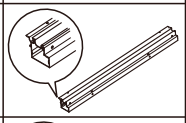
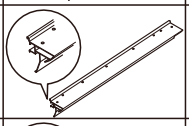
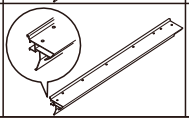
【3】梁セット

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | W54 | W60 |
| 梁 54型<br>L=5054 |  | 1 | – |
| 梁 60型<br>L=5644 |  | – | 1 |

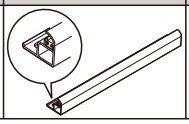
【4】中間アーチセット(ソラエル)

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 2本入 | | 3本入 | |
| | | L50 | L57 | L50 | L57 |
| 中間アーチ 50用 |  | 2 | – | 3 | – |
| 中間アーチ 57用 |  | – | 2 | – | 3 |

【5】端部アーチセット(ソラエル)

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| 端部アーチ 50用右 |  | 1 | – |
| 端部アーチ 50用左 |  | 1 | – |
| 端部アーチ 57用右 |  | – | 1 |
| 端部アーチ 57用左 |  | – | 1 |
| 端部アーチ側枠 50用(ワイド) |  | 2 | – |
| 端部アーチ側枠 57用(ワイド) |  | – | 2 |

【6】中骨セット

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| 中骨 |  | 6 | 7 |

【7】幅セット

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | W54 | W60 |
| 後枠 54用(ワイド) | | 1 | − |
| 後枠 60用(ワイド) | | − | 1 |
| 前枠 54用(ワイド) | | 1 | − |
| 前枠 60用(ワイド) | | − | 1 |
| 竪樋(L＝3500)φ40 | | 2 | 2 |

【8】アーチ固定金具セット(ソラエル)

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | W54 | W60 |
| 中間アーチ固定金具 | | 24 | 27 |
| 端部アーチ固定金具 | | 6 | 6 |
| 前後枠取付金具<br>（中間アーチ用） | | 16 | 18 |
| 前後枠取付金具<br>（端部アーチ用）左 | | 2 | 2 |
| 前後枠取付金具<br>（端部アーチ用）右 | | 2 | 2 |
| 【8-1】φ5×13<br>ナベドリルネジ | | 170 | 188 |
| 【8-2】φ5×16<br>ナベタッピンネジ 3種 | | 13 | 13 |
| 【8-3】φ4×13<br>ナベドリルネジ | | 86 | 94 |

【9】アーチカバーセット（ソラエル）

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | W54 | W60 |
| 端部アーチカバー 右 | | 1 | 1 |
| 端部アーチカバー 左 | | 1 | 1 |
| 中間アーチカバー | | 8 | 9 |

【10】部品セット（ソラエル）

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| ドレンエルボφ40用 | | 2 | 2 |
| 92°エルボφ40用 | | 4 | 4 |
| でんでん | | 6 | 6 |
| 接着剤 | | 1 | 1 |
| ブチルシーリング材 | | 2 | 2 |
| 雨樋アタッチメント | | 2 | 2 |
| 雨樋アタッチメントパッキン | | 2 | 2 |
| 雨樋アタッチメント台座 | | 2 | 2 |
| 雨樋アタッチメント台座パッキン | | 2 | 2 |
| 後枠コーナーキャップ 右 | | 1 | 1 |
| 後枠コーナーキャップ 左 | | 1 | 1 |
| 前枠コーナーキャップ 右 | | 1 | 1 |
| 前枠コーナーキャップ 左 | | 1 | 1 |
| 柱キャップ | | 6 | 6 |
| 柱梁カバー（ワイド用） | | 6 | 6 |
| アンカー棒 φ8×200 | | 6 | 6 |
| アーチカバーパッキン | | 1 | 1 |

【10】部品セット（ソラエル）つづき

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | L50 | L57 |
| 【10-1】M8×20六角ボルト（平座金・緩み止め付） | | 36 | 36 |
| 【10-2】φ4×10ワッシャーヘッドタッピンネジ（PW+ゴム座金） | | 384 | 439 |
| 【10-3】φ4×12 トラスタッピンネジ 3種 | | 130 | 150 |
| 【10-4】φ4×12 ナベタッピンネジ 3種 | | 12 | 12 |
| 【10-5】φ4×13ナベドリルネジ | | 6 | 6 |
| 【10-6】φ4×25 トラスタッピンネジ3種 | | 4 | 4 |
| 【10-7】φ5×16ナベタッピンネジ 3種 | | 6 | 6 |
| 【10-8】φ4×13ワッシャーヘッドナベドリルネジ（PW+ゴム座金） | | 13 | 15 |
| 取付説明書〈D553〉 | ー | 1 | 1 |
| 取扱説明書〈UD095〉 | ー | 1 | 1 |

【11】ブラケットセット

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | |
|---|---|---|---|
| | | W54 | W60 |
| ブラケット 54用 90° | | 2 | ー |
| ブラケット 60用 90° | | ー | 2 |

【12】屋根材セット（ポリカーボネート）

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 1枚入 | | 2枚入 | |
| | | L50 | L57 | L50 | L57 |
| 屋根材（ポリカーボネート）50用 | | 1 | ー | 2 | ー |
| 屋根材（ポリカーボネート）57用 | | ー | 1 | ー | 2 |

【13】屋根材セット（熱線遮断FRP板DR）　オプション

| 名　　称 | 略　　図 | 員　数 |
|---|---|---|
| 屋根材（熱線遮断FRP板DR） | | 1 |

# 2 基本寸法と各部名称

## 1. 各部名称

### 1-1 ワイド

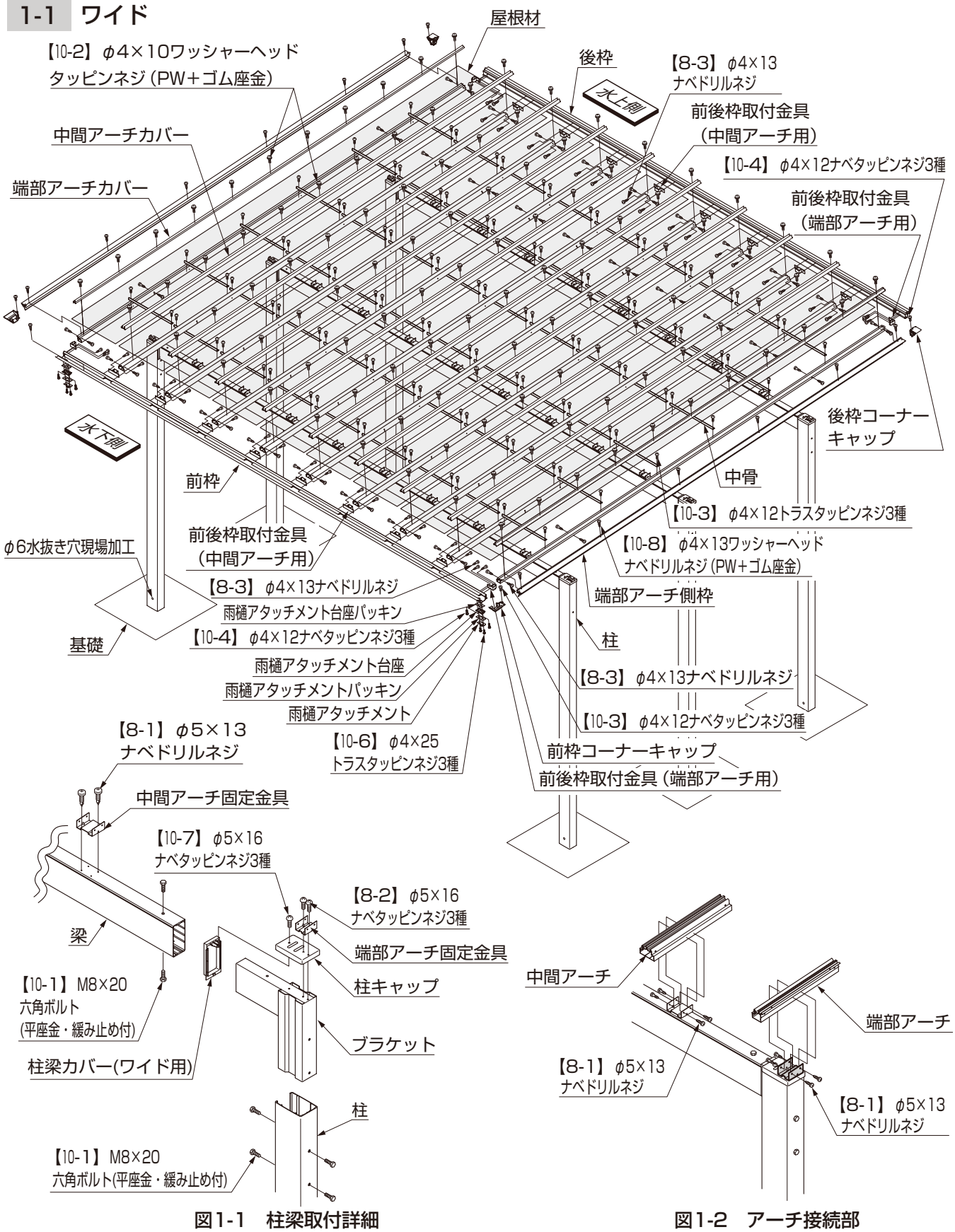



図1-1　柱梁取付詳細　　図1-2　アーチ接続部

D553_201301A

## 2. 基本寸法 ※図は標準柱を示します。ロング柱の場合は、高さ＋230mmになります。

### （1）W54

**補 足**

●基礎の寸法は、「5 本体の施工　1. 基礎の施工　表1-1 基礎寸法表」を参照してください。

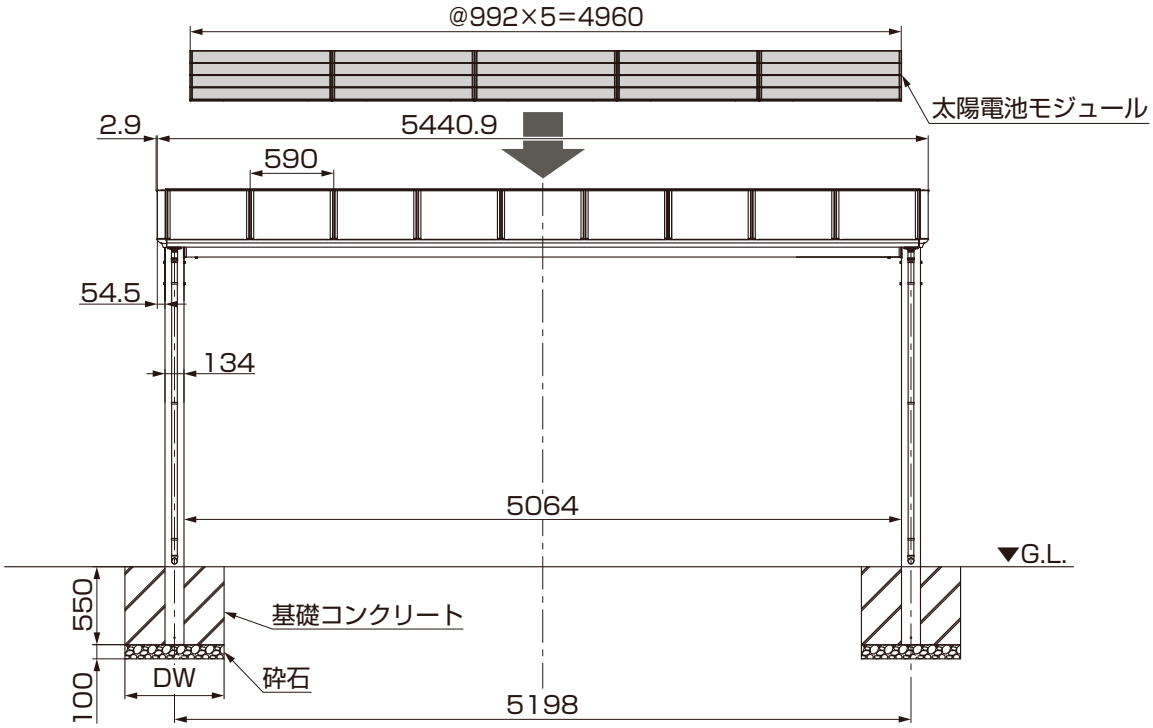



図2-1

### （2）W60

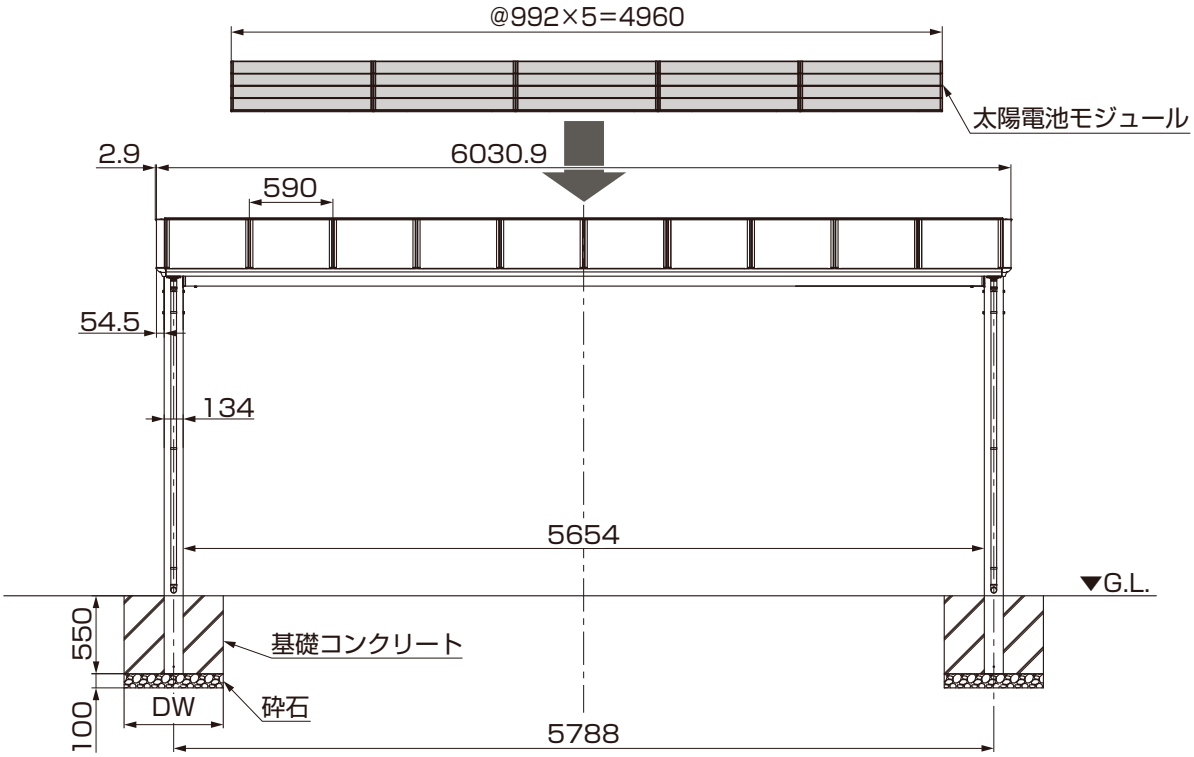



図2-2

## (3) L50

※柱移動寸法はP.19「5 本体の施工　3. 柱の建て込み　3-1 柱の加工」を参照してください。

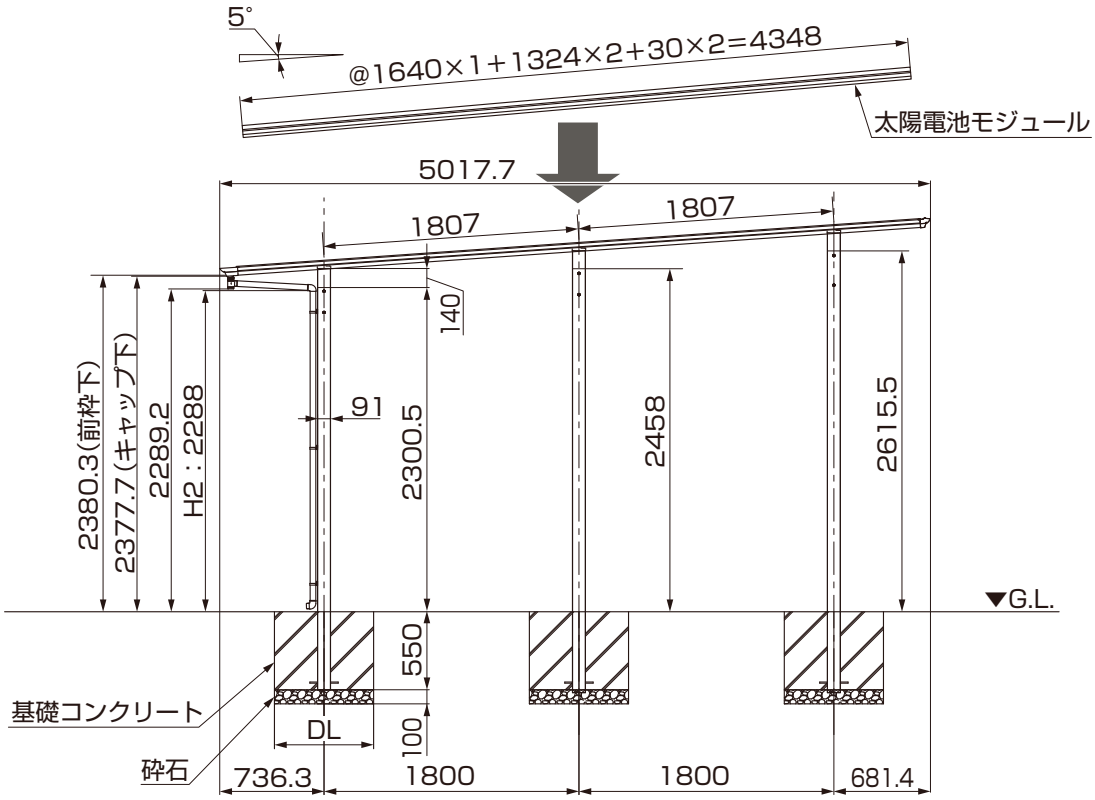



図2-3

## (4) L57

※柱移動寸法はP.19「5 本体の施工　3. 柱の建て込み　3-1 柱の加工」を参照してください。

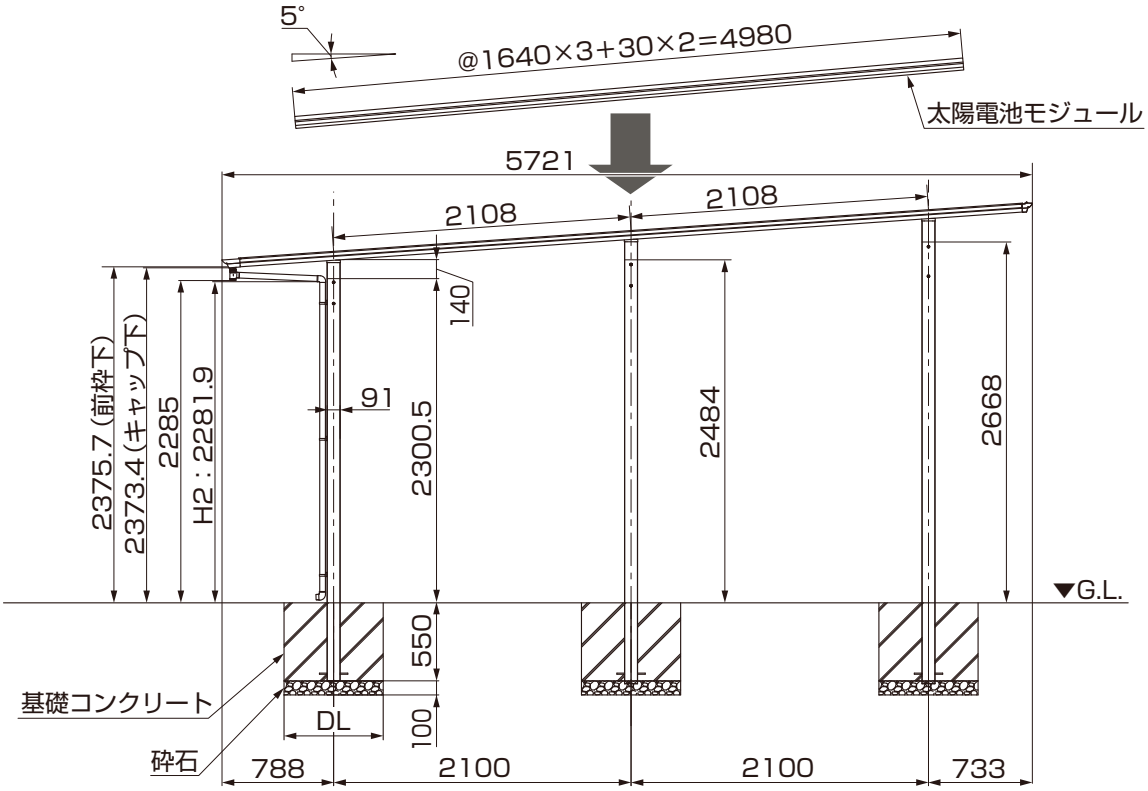



図2-4

# 3　断面納まり図

## 1.間口方向

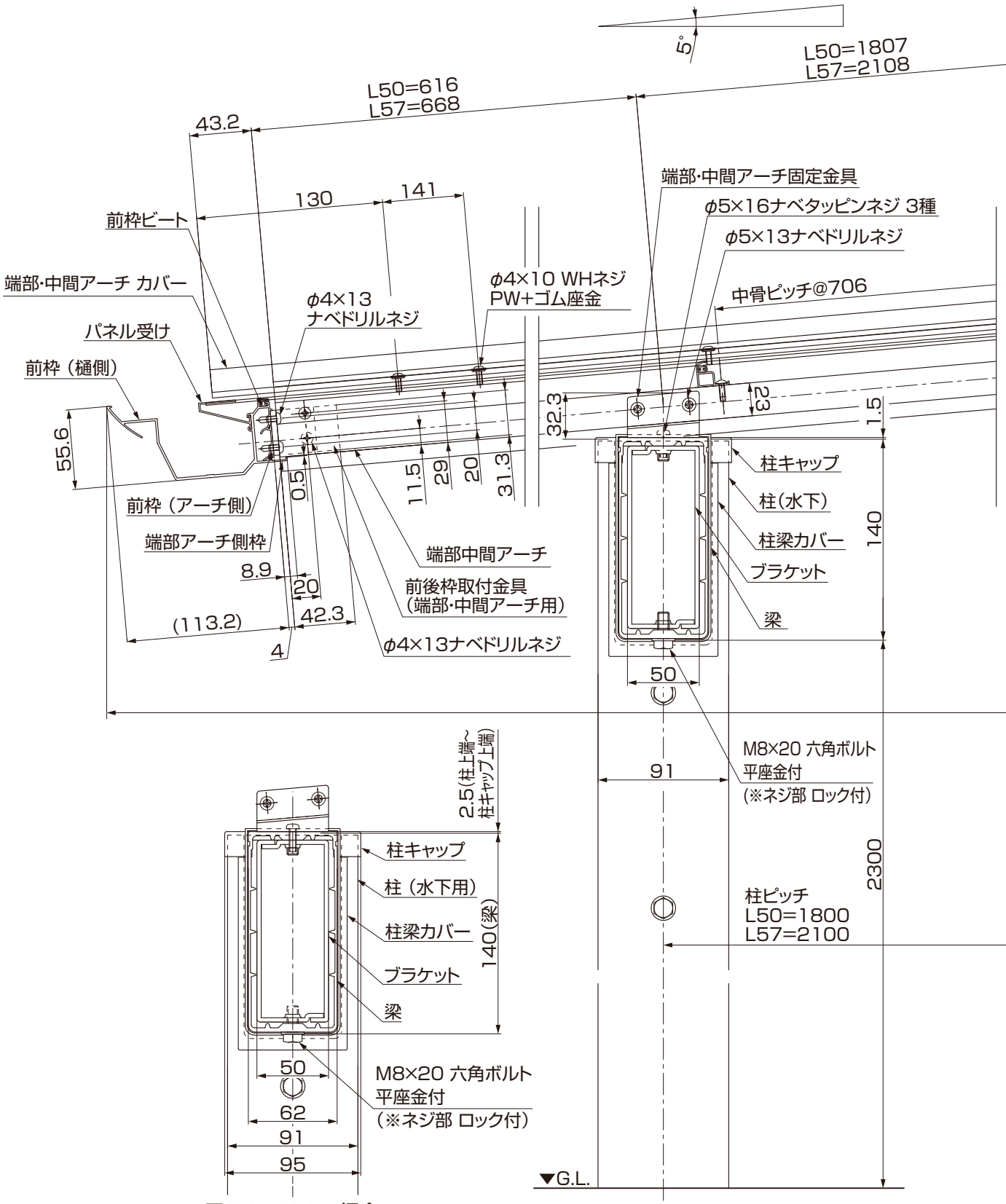
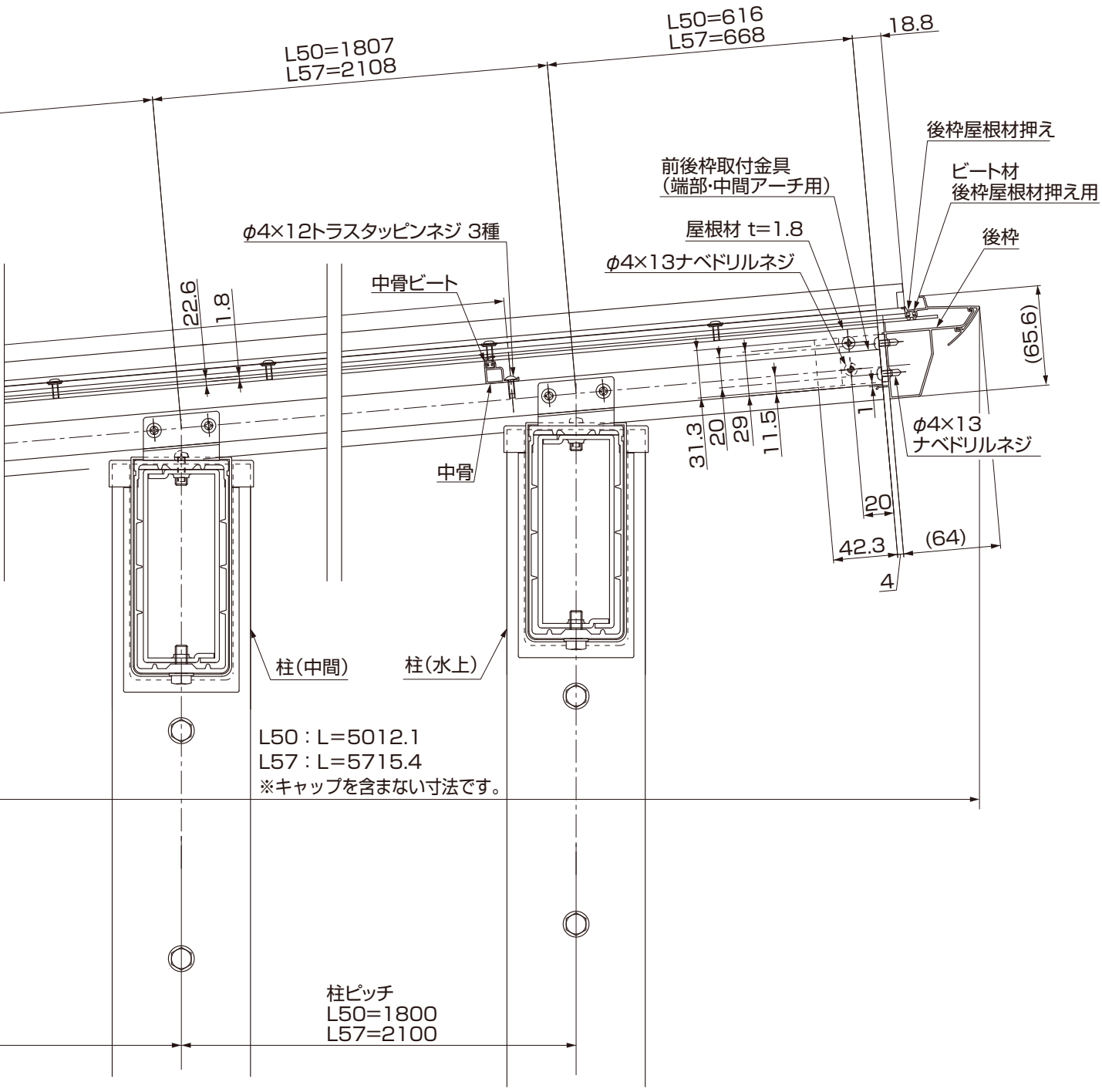
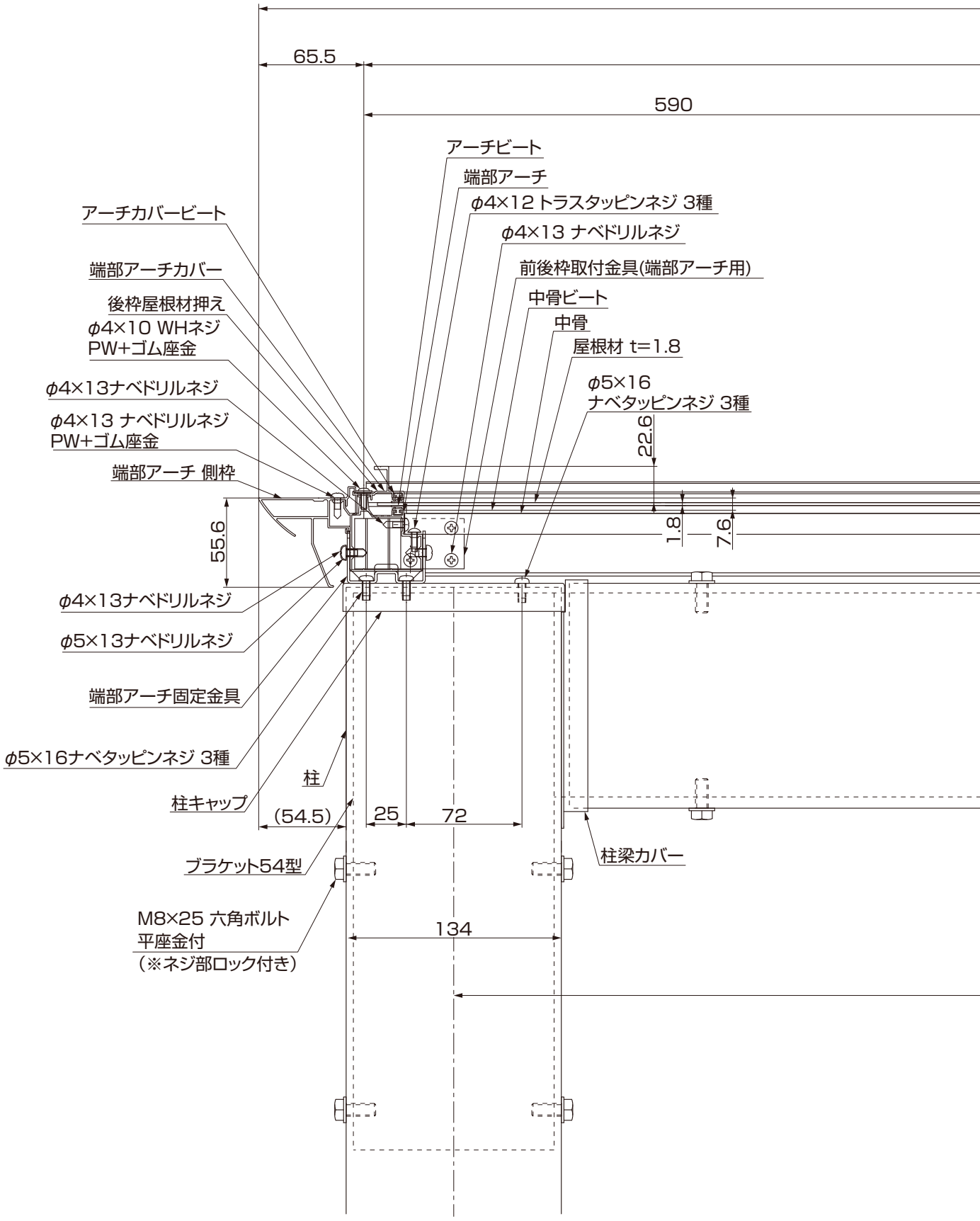
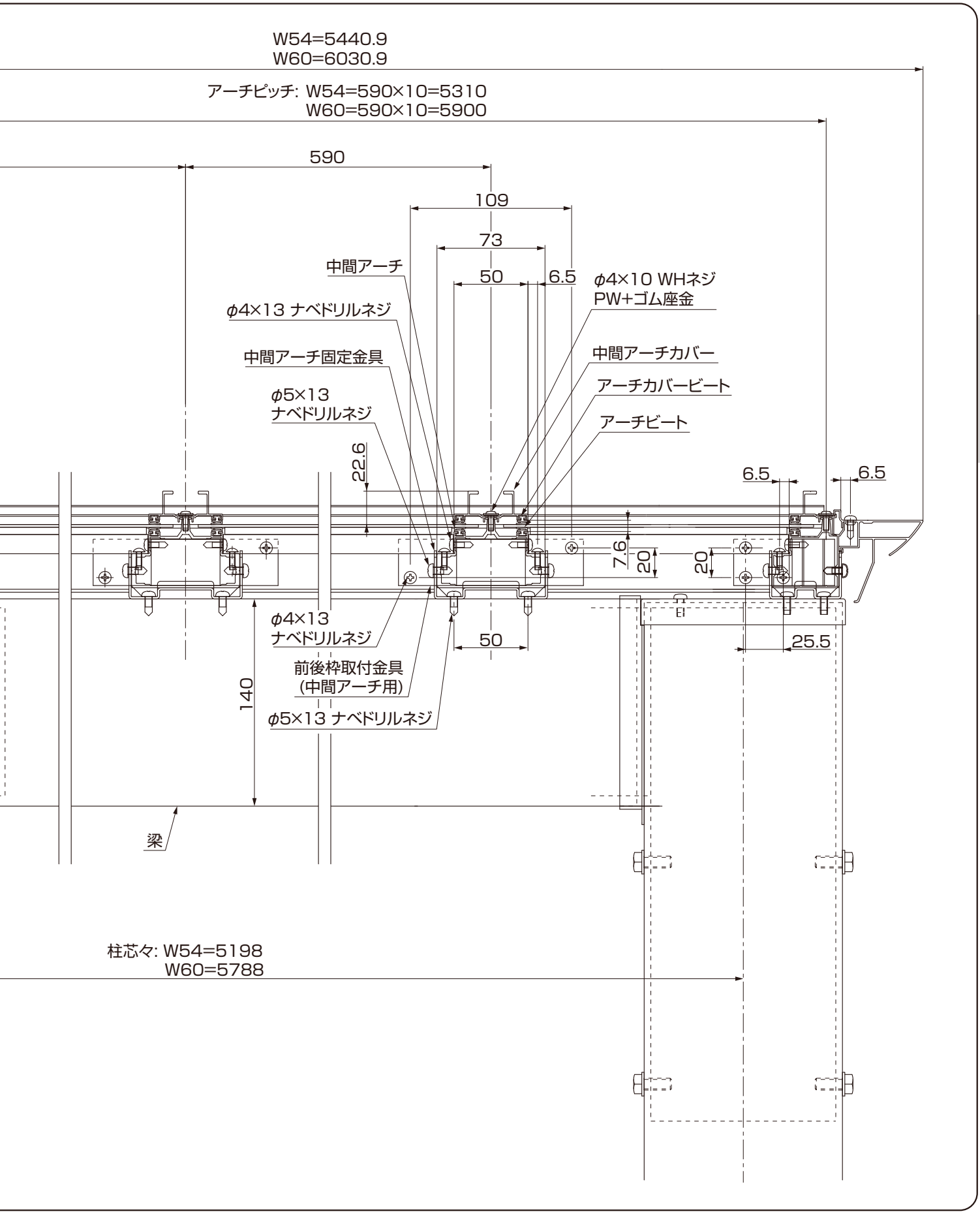



図1-1　L57の場合


L50=1807
L57=2108
L50=616
L57=668
18.8
後枠屋根材押え
前後枠取付金具
(端部･中間アーチ用)
ビート材
後枠屋根材押え用
φ4×12トラスタッピンネジ 3種
屋根材 t=1.8
後枠
φ4×13ナベドリルネジ
中骨ビート
22.6
1.8
(65.6)
31.3
20
29
11.5
1
φ4×13
ナベドリルネジ
中骨
20
42.3
(64)
4
柱(中間)
柱(水上)
L50 : L=5012.1
L57 : L=5715.4
※キャップを含まない寸法です。
柱ピッチ
L50=1800
L57=2100

## 2. 出幅方向


65.5
590
アーチビート
端部アーチ
φ4×12 トラスタッピンネジ 3種
φ4×13 ナベドリルネジ
前後枠取付金具(端部アーチ用)
中骨ビート
中骨
屋根材 t=1.8
φ5×16
ナベタッピンネジ 3種
22.6
1.8
7.6
アーチカバービート
端部アーチカバー
後枠屋根材押え
φ4×10 WHネジ
PW+ゴム座金
φ4×13ナベドリルネジ
φ4×13 ナベドリルネジ
PW+ゴム座金
端部アーチ 側枠
55.6
φ4×13ナベドリルネジ
φ5×13ナベドリルネジ
端部アーチ固定金具
φ5×16ナベタッピンネジ 3種
柱
柱キャップ
(54.5)
25
72
柱梁カバー
ブラケット54型
M8×25 六角ボルト
平座金付
(※ネジ部ロック付き)
134






D553_201301A

# 4　事前確認

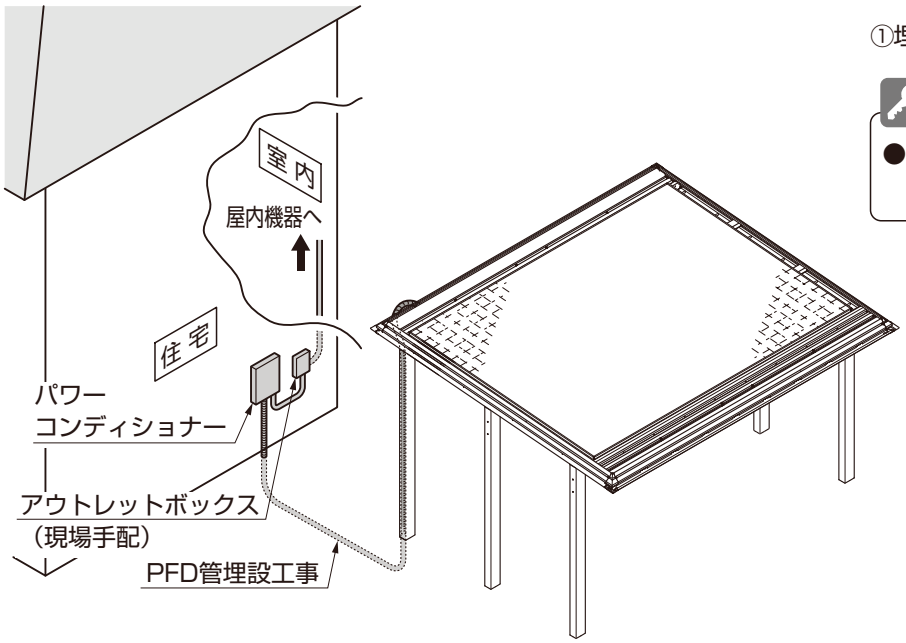
## 1. 埋設管立ち上げ位置の確認

**注 意**

●電気配線工事に関しては電気工事有資格者による施工をお願いします。
●電気配線工事は「電気工事業法」・「電気工事士法」・「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」にしたがってください。

### 1-1　屋外用パワーコンディショナーを使う場合

対応機種：54-50、54-57、60-50、60-57



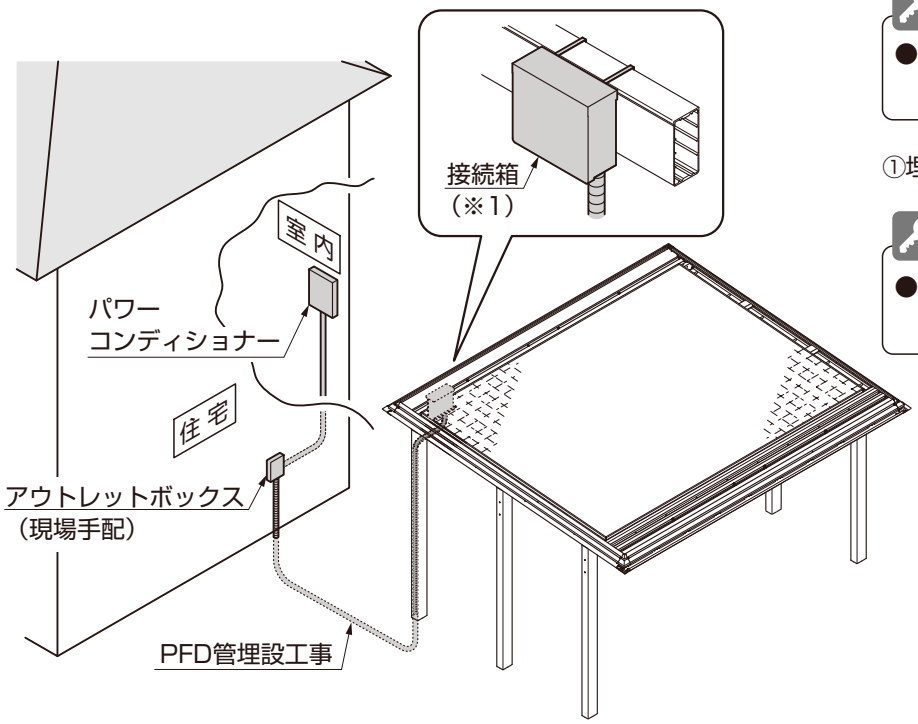

①埋設管立ち上げ位置を確認してください。

**ポイント**

●アウトレットボックスは別途手配してください。

### 1-2　屋内用パワーコンディショナーを現場で別途使う場合

対応機種：54-57、60-57




**ポイント**

●接続箱は、住宅の壁面に取付けすることも可能です。（※1）

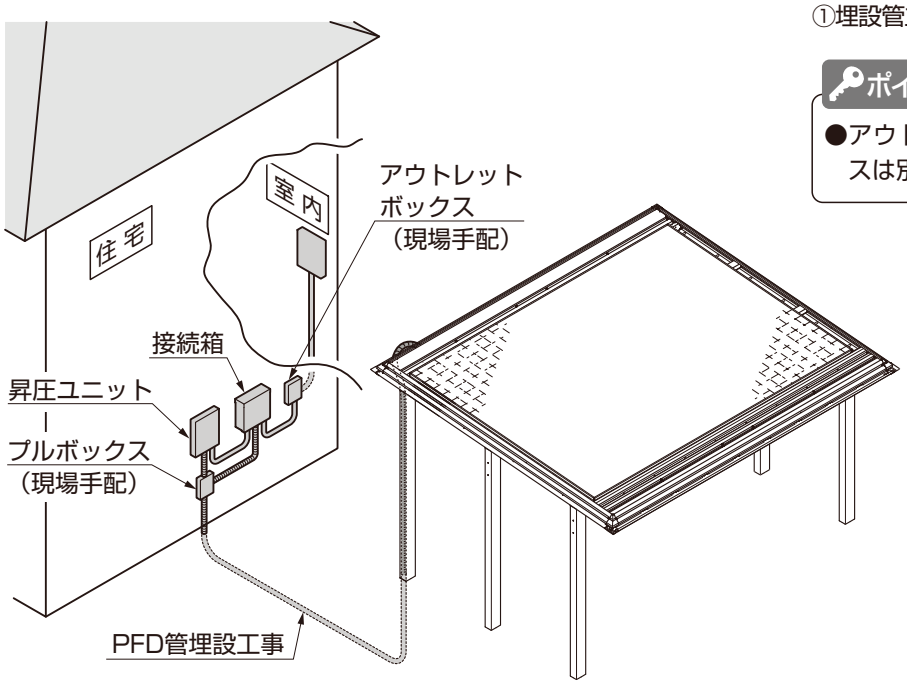
①埋設管立ち上げ位置を確認してください。

**ポイント**

●アウトレットボックスは別途手配してください。

## 1-3 屋内用パワーコンディショナーを現場で別途使い、昇圧回路が発生する場合

対応機種：54-50、60-50




①埋設管立ち上げ位置を確認してください。

**ポイント**

●アウトレットボックス、プルボックスは別途手配してください。

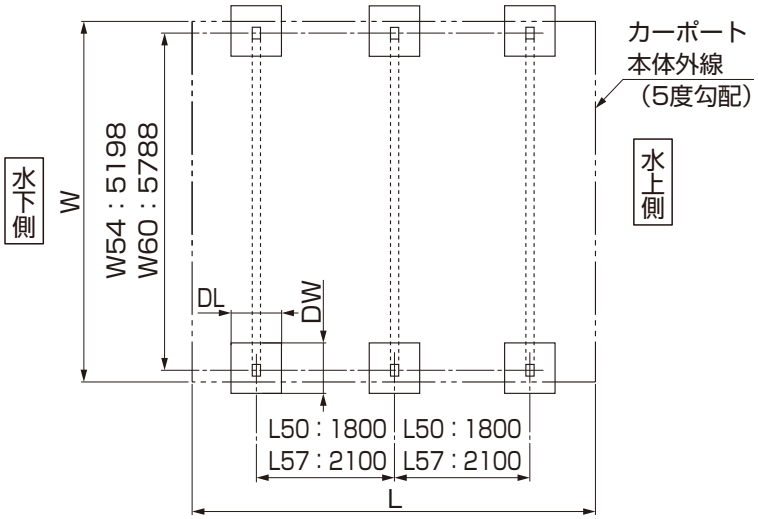
4 事前確認

## メモ

# 5　本体の施工

## 1.基礎の施工

### 1-1　基礎位置の墨出し




**ポイント**

●構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

表1-1　基礎寸法表

| 形式W-L | W | L | 地耐力 | 標準柱 | | | | ロング柱 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 土圧 | | 土圧・側面圧力考慮 | | 土圧 | | 土圧・側面圧力考慮 | |
| | | | | DL | DW | DL | DW | DL | DW | DL | DW |
| 54-50 | 5441 | 5018 | 30kN | 800 | 950 | 800 | 900 | 800 | 950 | 800 | 900 |
| | | | 50kN | 800 | 900 | 800 | 850 | 800 | 900 | 800 | 850 |
| | | | 100kN | 800 | 850 | 800 | 800 | 800 | 900 | 800 | 850 |
| 54-57 | 5441 | 5721 | 30kN | 800 | 950 | 800 | 900 | 800 | 950 | 800 | 900 |
| | | | 50kN | 800 | 900 | 800 | 850 | 800 | 900 | 800 | 850 |
| | | | 100kN | 800 | 850 | 800 | 800 | 800 | 900 | 800 | 850 |
| 60-50 | 6031 | 5018 | 30kN | 800 | 1300 | 800 | 1200 | 800 | 1300 | 800 | 1200 |
| | | | 50kN | 800 | 1250 | 800 | 1150 | 800 | 1250 | 800 | 1150 |
| | | | 100kN | 800 | 1200 | 800 | 1100 | 800 | 1200 | 800 | 1100 |
| 60-57 | 6031 | 5721 | 30kN | 800 | 1300 | 800 | 1200 | 800 | 1300 | 800 | 1200 |
| | | | 50kN | 800 | 1250 | 800 | 1150 | 800 | 1250 | 800 | 1150 |
| | | | 100kN | 800 | 1200 | 800 | 1100 | 800 | 1200 | 800 | 1100 |

### 1-2　基礎寸法　※偏芯基礎部材を使用の場合

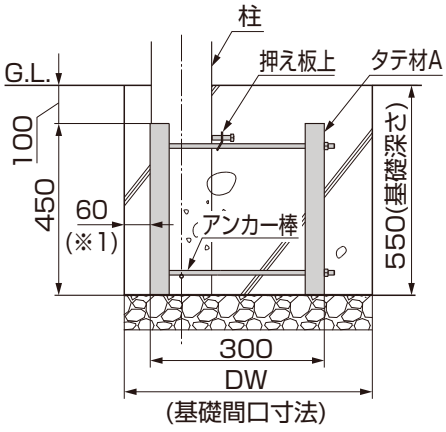



図1-1

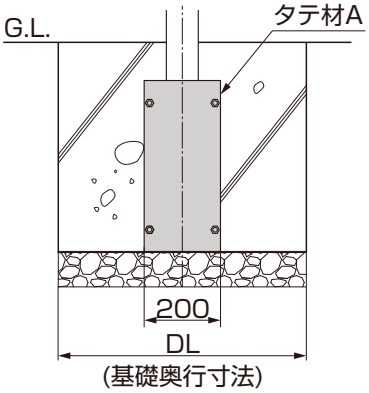



図1-2

**ポイント**

●タテ材Aの外面から基礎端面の寸法です。(※1)

**補 足**

●基礎の寸法は、表1-1　基礎寸法を参照してください。

# 2. 事前準備

## 2-1 アーチの加工

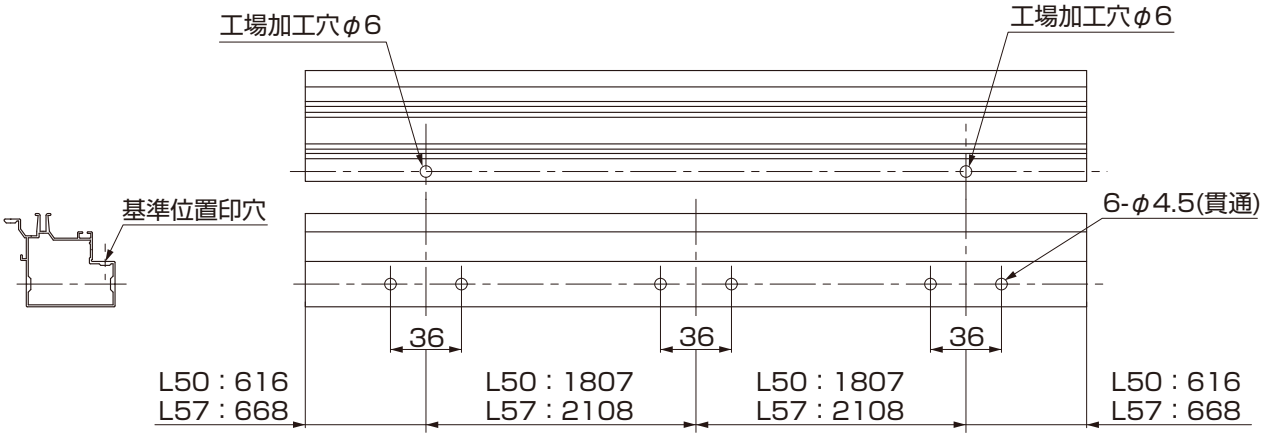



図2-1　端部アーチ

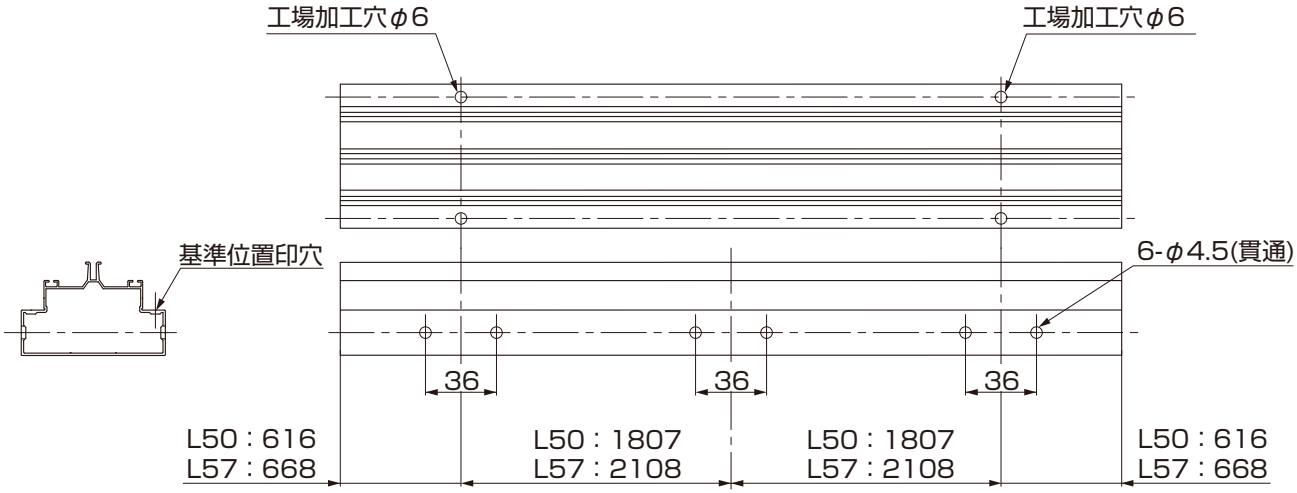



図2-2　中間アーチ

**ポイント**

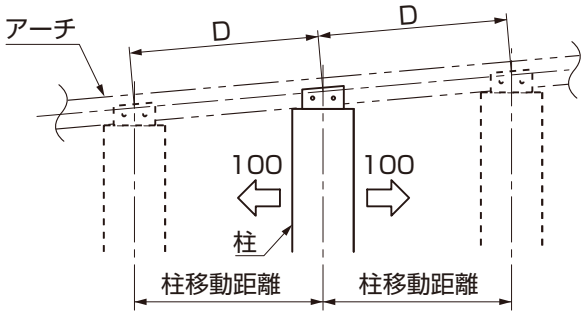



図2-3　柱を移動する場合

●柱を移動する場合は、下記数式より下穴加工位置変更寸法Dを算出し、加工してください。
・柱移動距離÷0.9962＝下穴加工位置変更寸法D
※cos5°＝0.9962

①アーチに穴加工を行なってください。

# 2.（つづき）

## 2-2 端部アーチカバーの加工 ※端部アーチには左右があります。図は左用を示します。右用は左右反転です。

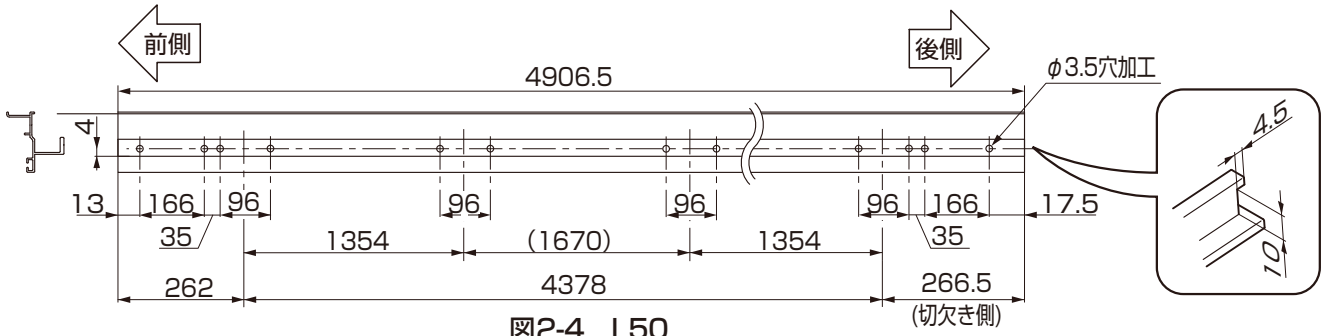



図2-4　L50

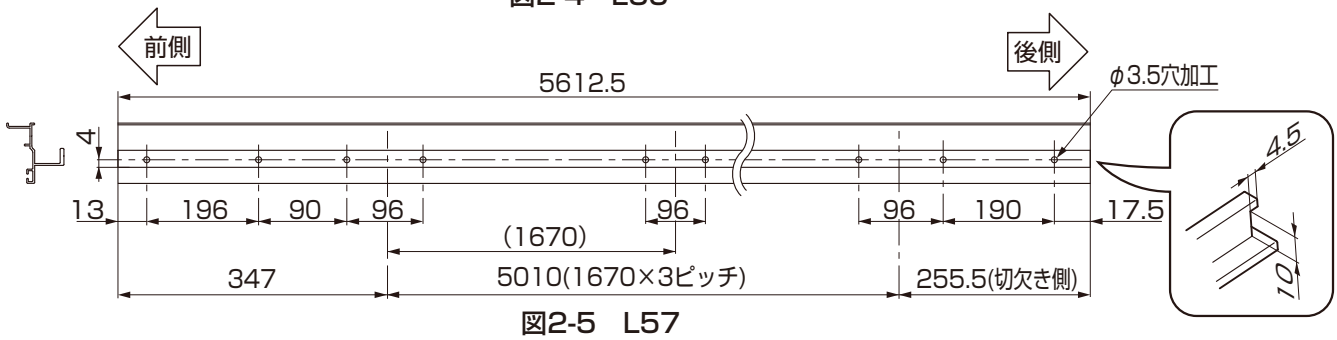
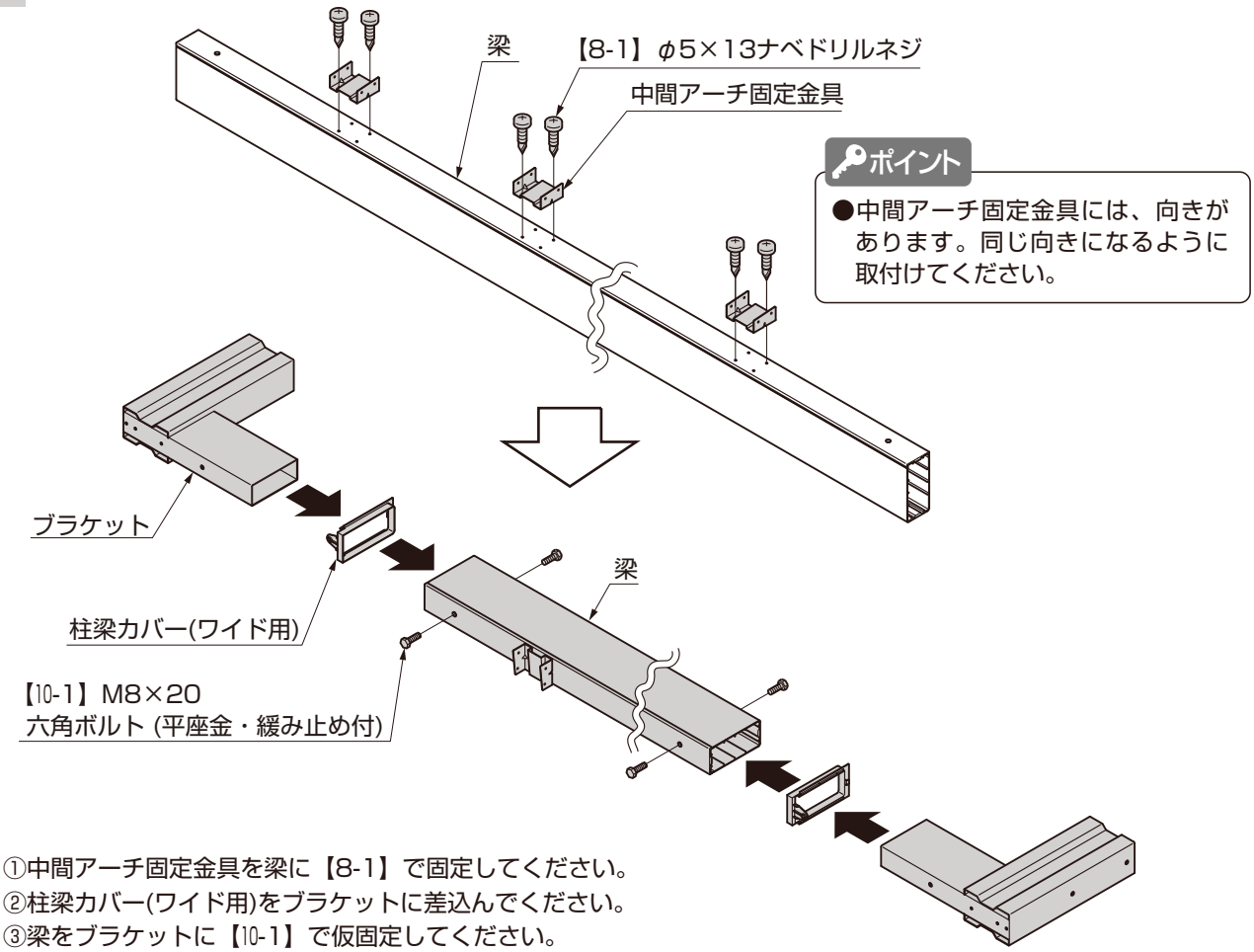



図2-5　L57

①端部アーチカバーにφ3.5の穴加工を行なってください。

## 2-3 梁の組立て




①中間アーチ固定金具を梁に【8-1】で固定してください。
②柱梁カバー(ワイド用)をブラケットに差込んでください。
③梁をブラケットに【10-1】で仮固定してください。

# 3. 柱の建て込み

## 3-1 柱の加工

※柱を切断する場合の作業です。
※ ⇦⇨ は、柱の移動可能な範囲を示します。

### （1）L50の場合

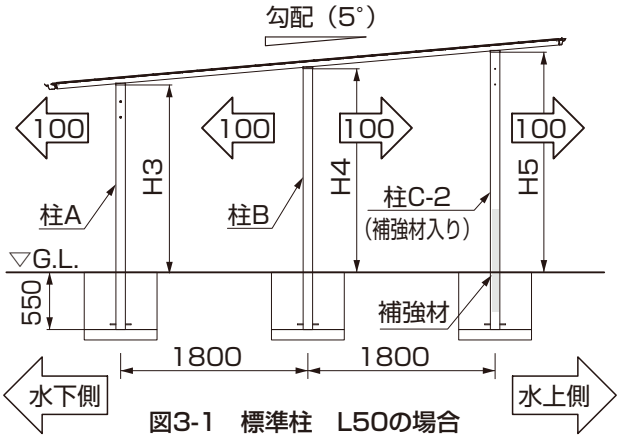



図3-1　標準柱　L50の場合

表3-1　柱寸法表：柱移動なしの場合　標準柱

| | 柱A | 柱B | 柱C-2（補強材入り） |
|---|---|---|---|
| 規格寸法（H） | 2988 | 3218 | 3477 |
| 必要寸法（H1） | 2988 | 3145.5 | 3303 |
| 切断寸法（H2） | 0 | 72.5 | 174 |
| G.L.～柱上寸法 | 2438 (H3) | 2595.5 (H4) | 2753 (H5) |

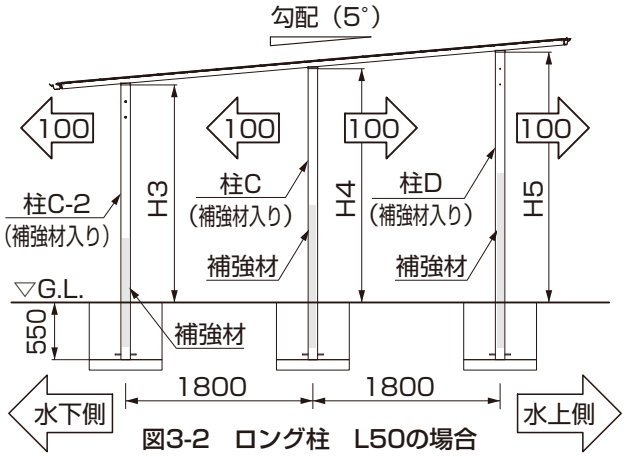



図3-2　ロング柱　L50の場合

表3-2　柱寸法表：柱移動なしの場合　ロング柱

| | 柱C-2（補強材入り） | 柱C（補強材入り） | 柱D（補強材入り） |
|---|---|---|---|
| 規格寸法（H） | 3477 | 3477 | 3707 |
| 必要寸法（H1） | 3218 | 3375.5 | 3533 |
| 切断寸法（H2） | 259 | 101.5 | 174 |
| G.L.～柱上寸法 | 2668 (H3) | 2825.5 (H4) | 2983 (H5) |

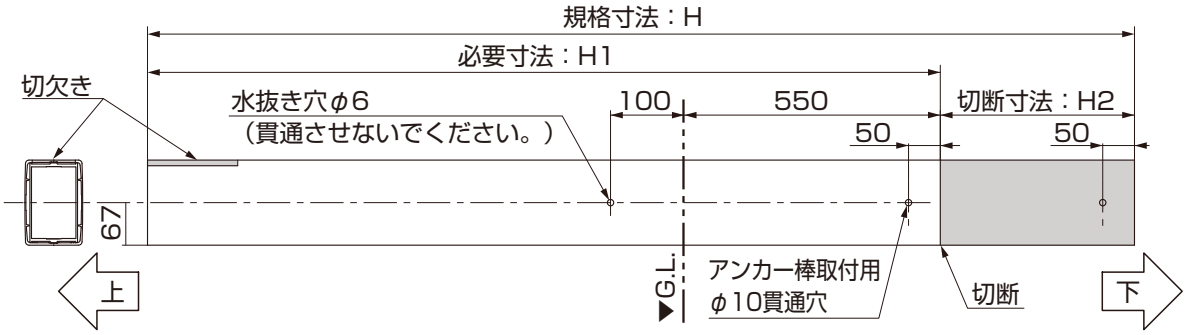



図3-3　柱を切断する場合　L50の場合

①柱を切断する場合は、埋め込み寸法が550mmになるように柱を切断してください。

**補 足**

●必ずアンカー棒取付け側を切断してください。
●柱を移動する場合は、下記数式例を参考に切断寸法（A）を算出し、加工してください。
例）柱を100mm移動する際の切断寸法（A）

数式：100×0.0875＝9（小数点以下四捨五入）　※tan5°＝0.0875

・水上側へ移動：切断寸法（A）＝切断寸法A－9（柱を長くする）
・水下側へ移動：切断寸法（A）＝切断寸法A＋9（柱を短くする）

# 3.（つづき）

## （2）L57の場合

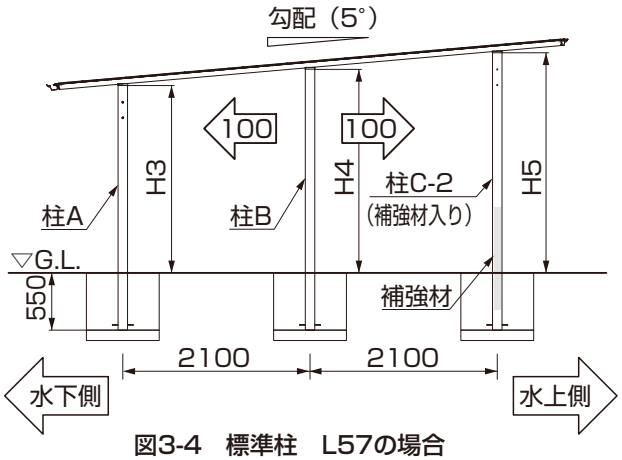



図3-4　標準柱　L57の場合

表3-3　柱寸法表：柱移動なしの場合　標準柱

| | 柱A | 柱B | 柱C-2（補強材入り） |
|---|---|---|---|
| 規格寸法（H） | 2988 | 3218 | 3477 |
| 必要寸法（H1） | 2988 | 3171.5 | 3355.5 |
| 切断寸法（H2） | 0 | 46.5 | 121.5 |
| G.L.～柱上寸法 | 2438（H3） | 2621.5（H4） | 2805.5（H5） |

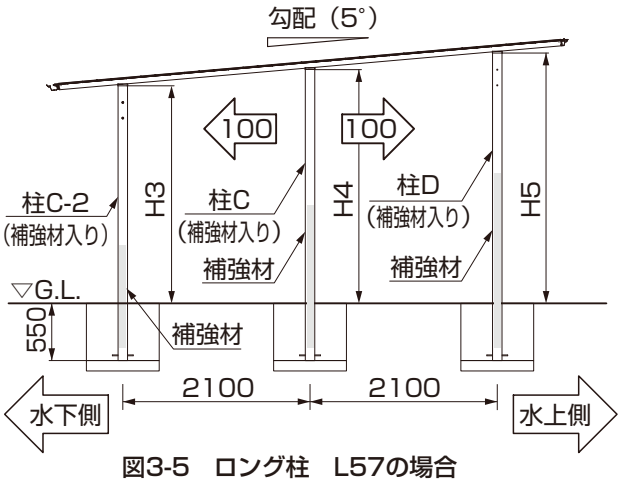



図3-5　ロング柱　L57の場合

表3-4　柱寸法表：柱移動なしの場合　ロング柱

| | 柱C-2（補強材入り） | 柱C（補強材入り） | 柱D（補強材入り） |
|---|---|---|---|
| 規格寸法（H） | 3477 | 3477 | 3707 |
| 必要寸法（H1） | 3218 | 3401.5 | 3585.5 |
| 切断寸法（H2） | 259 | 75.5 | 121.5 |
| G.L.～柱上寸法 | 2668（H3） | 2851.5（H4） | 3035.5（H5） |

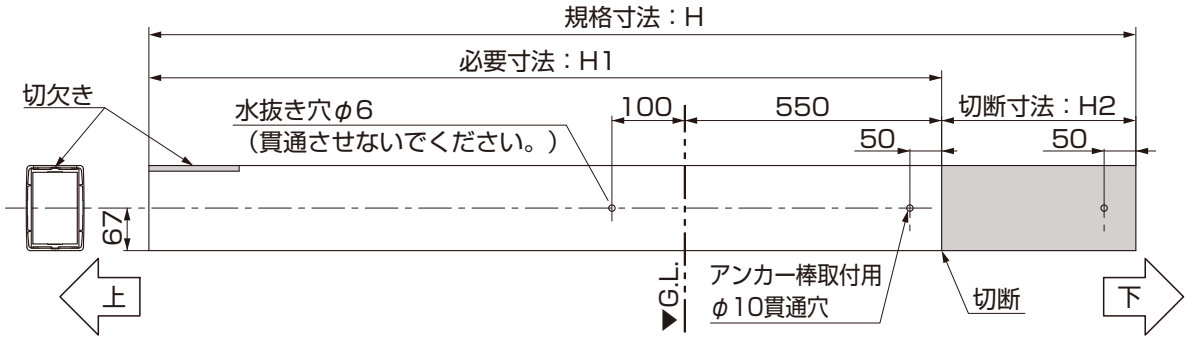



図3-6　柱を切断する場合　L57の場合

①柱を切断する場合は、埋め込み寸法が550mmになるように柱を切断してください。

**補 足**

●必ずアンカー棒取付け側を切断してください。
●柱を移動する場合は、下記数式例を参考に切断寸法（A）を算出し、加工してください。
例）柱を100mm移動する際の切断寸法（A）

数式：100×0.0875＝9（小数点以下四捨五入）　※tan5°＝0.0875

・水上側へ移動：切断寸法（A）＝切断寸法A－9（柱を長くする）
・水下側へ移動：切断寸法（A）＝切断寸法A＋9（柱を短くする）

## 3-2 柱の建込み

切欠き
（※1）

H3

H4

H5

水上側(後枠側)

アンカー棒

W方向

L方向

水下側(前枠側)

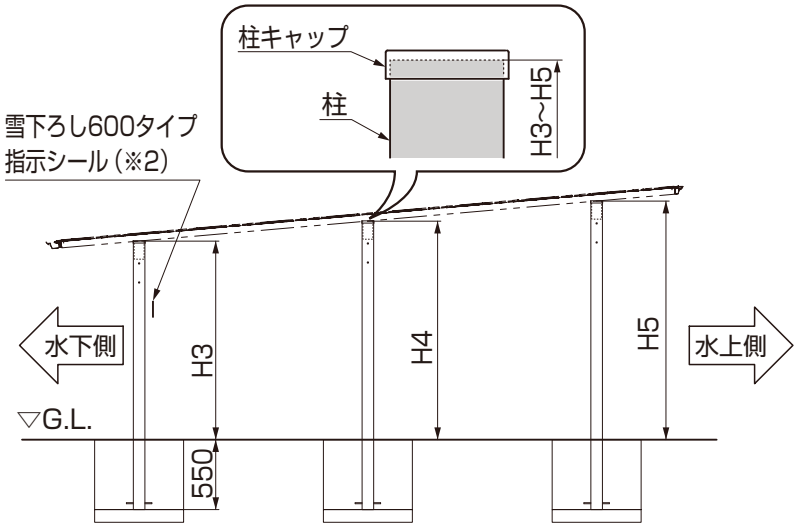



表3-5　G.L.～柱上寸法

| | | H3 | H4 | H5 |
|---|---|---|---|---|
| 標準 | L50 | 2438 | 2595.5 | 2753 |
| | L57 | 2438 | 2621.5 | 2805.5 |
| ロング | L50 | 2668 | 2825.5 | 2983 |
| | L57 | 2668 | 2851.5 | 3035.5 |

**注 意**

●基礎コンクリートが固まるまで、添え木をして柱が倒れないようにしてください。

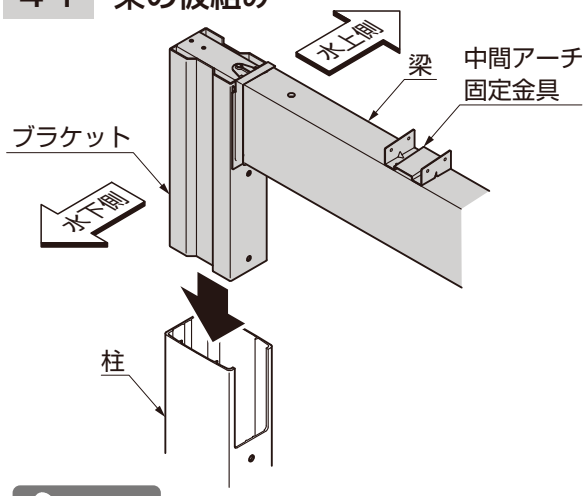
①柱にアンカー棒を差込み、柱を建込んでください。

**ポイント**

●柱に切欠きがある方を内側にしてください。（※1）
●水下側の柱に貼付けてある雪下ろし600タイプ指示シールを水上側から見えるように柱を施工してください。
竪樋を取付けると表示が見えなくなります。（※2）

# 4. 梁、端部アーチの取付け

## 4-1 梁の仮組み

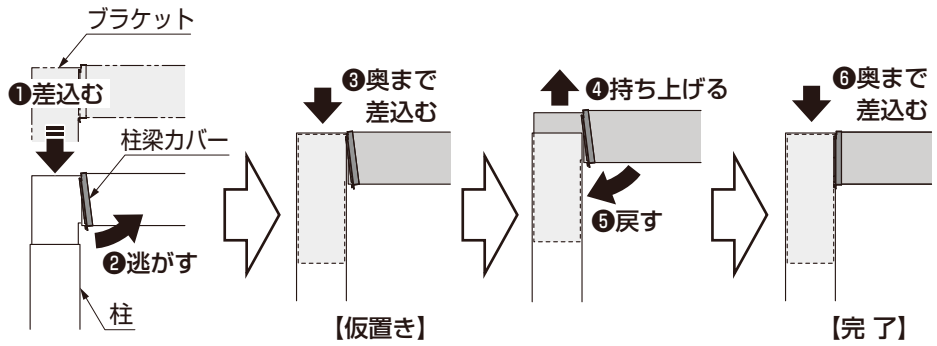



①ブラケットを柱に差込んでください。

**ポイント**

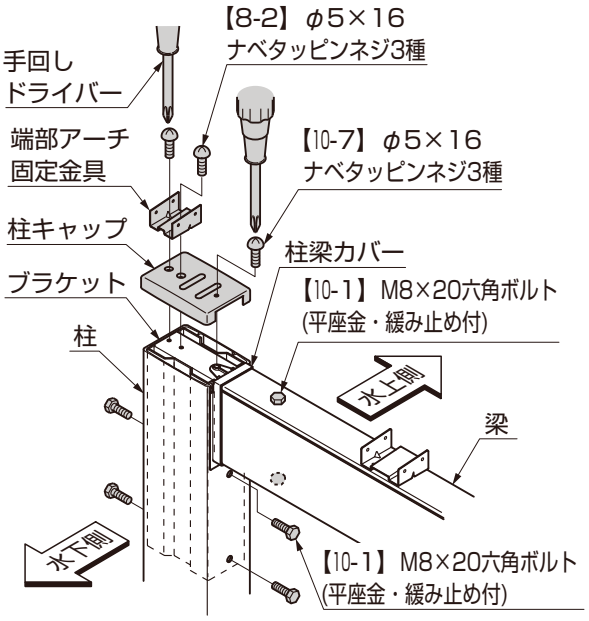
●中間アーチ固定金具の向きを確認して梁を取付けてください。

**ポイント**




●1度柱梁カバーを逃がした状態で仮置きし、梁を持ち上げて柱梁カバーを柱内に寄せてください。

## 4-2 梁の固定

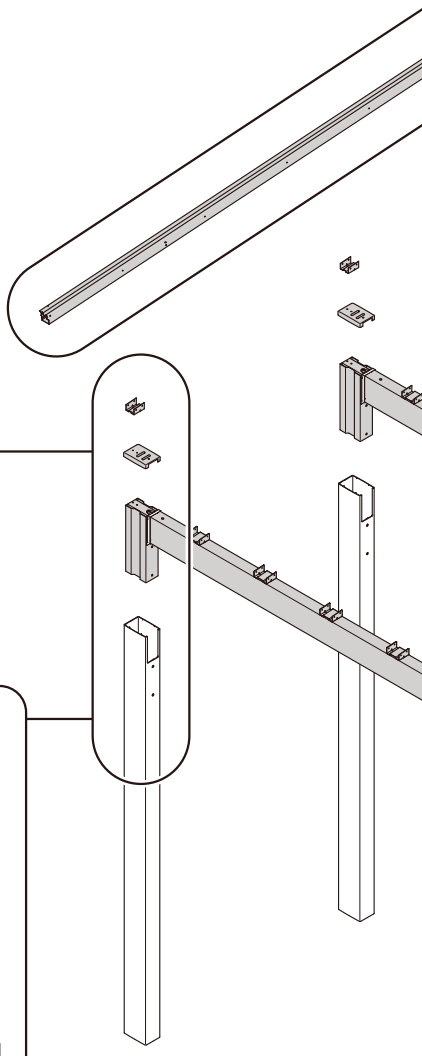


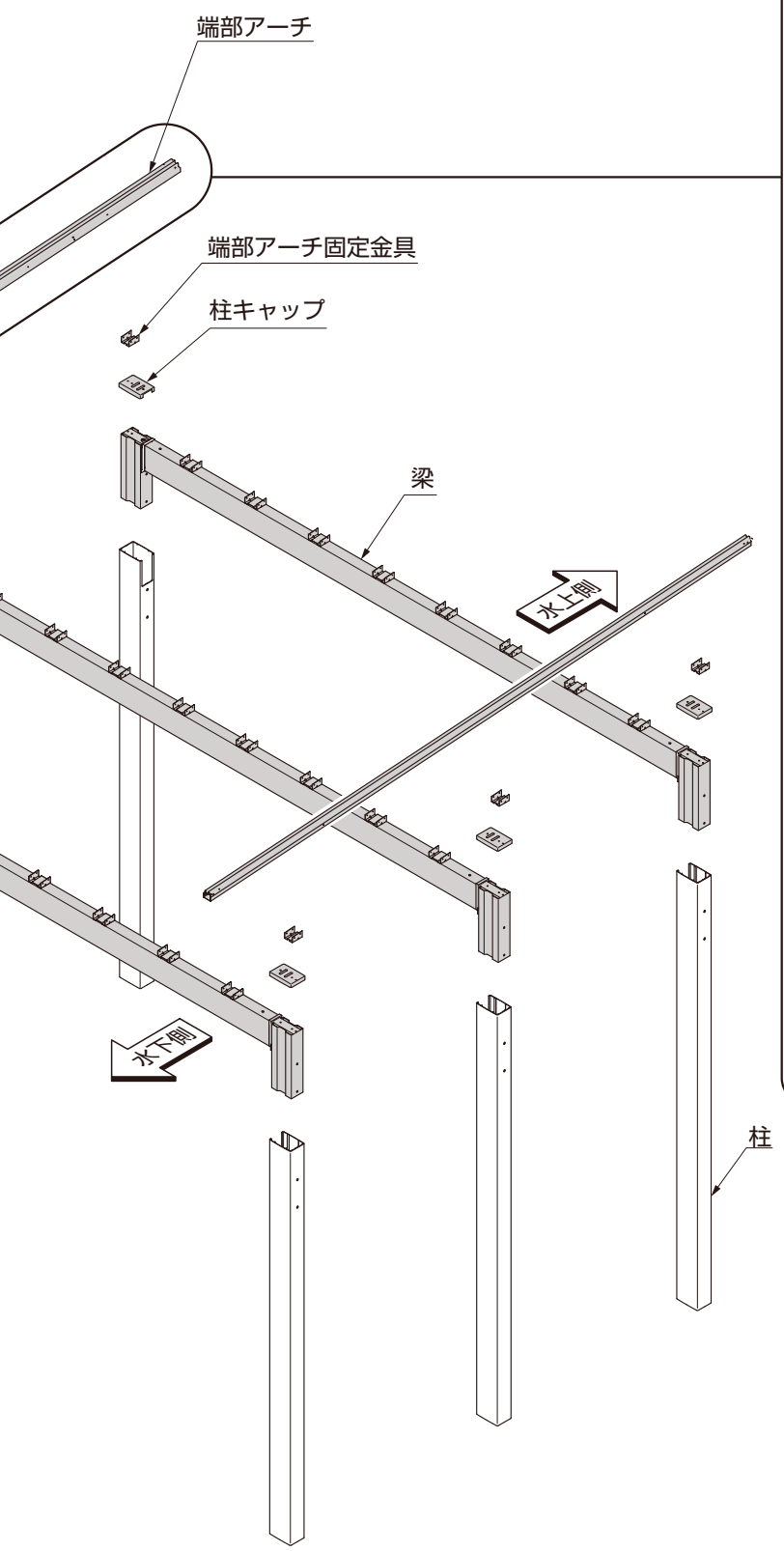

①柱キャップを柱梁カバーとブラケットに【10-7】で手回しドライバーを使用して仮固定してください。
②端部アーチ固定金具を柱キャップに【8-2】で手回しドライバーを使用して仮固定してください。

**ポイント**

●端部アーチ固定金具の向きを確認して取付けてください。

③柱とブラケットを【10-1】で仮固定してください。
④すべてのネジを本締めしてください。
⑤梁とブラケットを仮固定している【10-1】を本締めしてください。






## 4-3　端部アーチの取付け

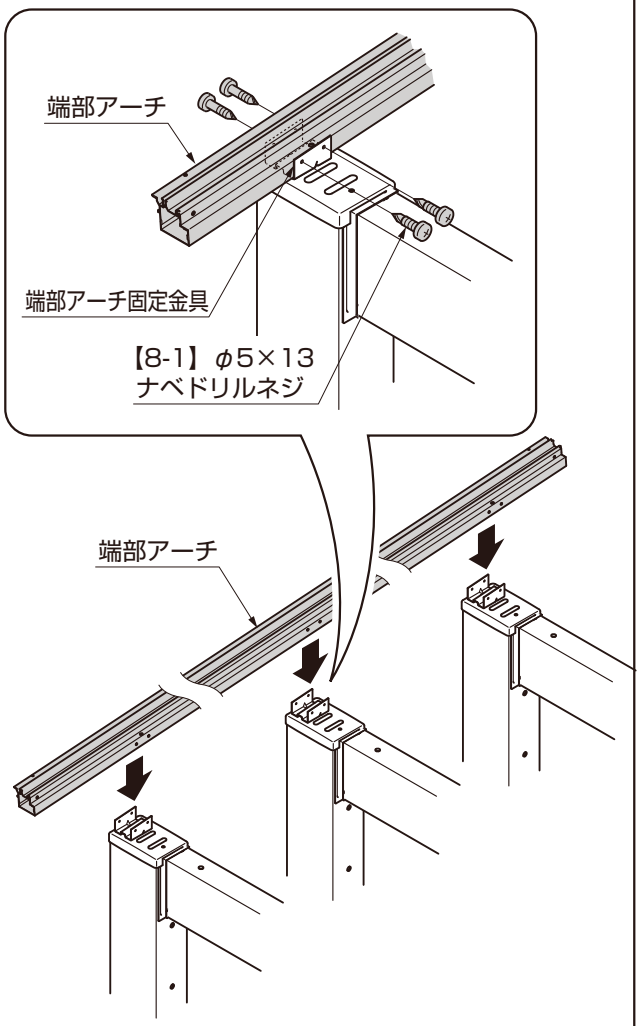



図4-1　端部アーチの取付け

①端部アーチを端部アーチ固定金具に【8-1】で取付けてください。

# 5. 前枠・後枠の取付け

前後枠取付金具(端部アーチ用)
【8-3】φ4×13ナベドリルネジ
【8-3】φ4×13ナベドリルネジ
後枠
水上側
端部アーチ
前枠
水下側

## 5-1 前枠の組立て

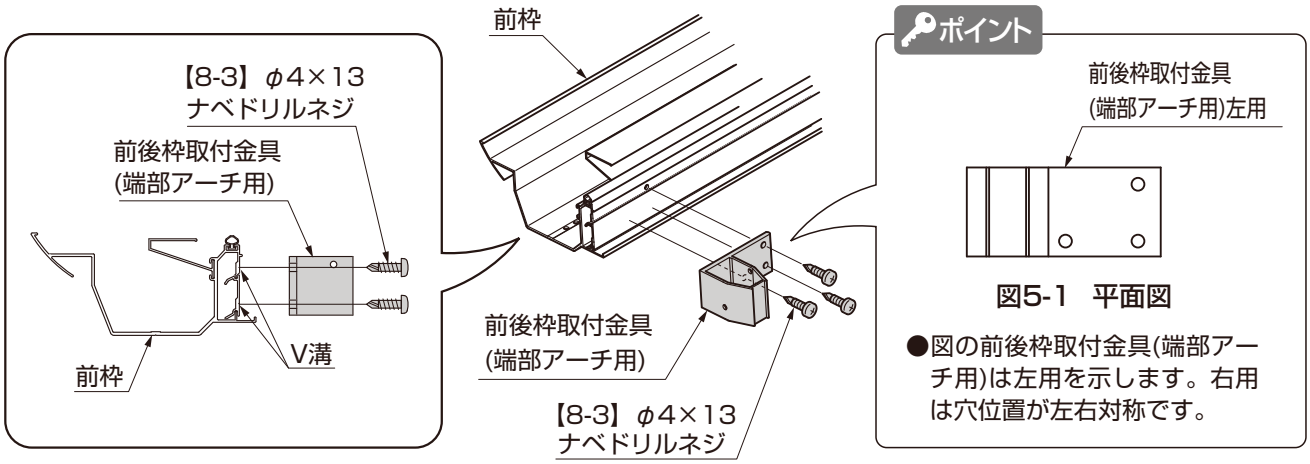



図5-1　平面図

●図の前後枠取付金具(端部アーチ用)は左用を示します。右用は穴位置が左右対称です。

①前後枠取付金具(端部アーチ用)を前枠に【8-3】でV溝に合わせて取付けてください。

## 5-2 後枠の組立て

ポイント

前後枠取付金具
(端部アーチ用)右用

図5-2 平面図

●図の前後枠取付金具(端部アーチ用)は左用を示します。右用は穴位置が左右対称です。

後枠

【8-3】φ4×13
ナベドリルネジ

V溝

後枠

前後枠取付金具
(端部アーチ用)

V溝

前後枠取付金具
(端部アーチ用)

【8-3】φ4×13ナベドリルネジ

①前後枠取付金具(端部アーチ用)を後枠に【8-3】でV溝に合わせて取付けてください。

## 5-3 前後枠の取付け

後枠

前後枠取付金具
(端部アーチ用)

端部アーチ

水上側

【8-3】φ4×13
ナベドリルネジ

前枠

前後枠取付金具
(端部アーチ用)

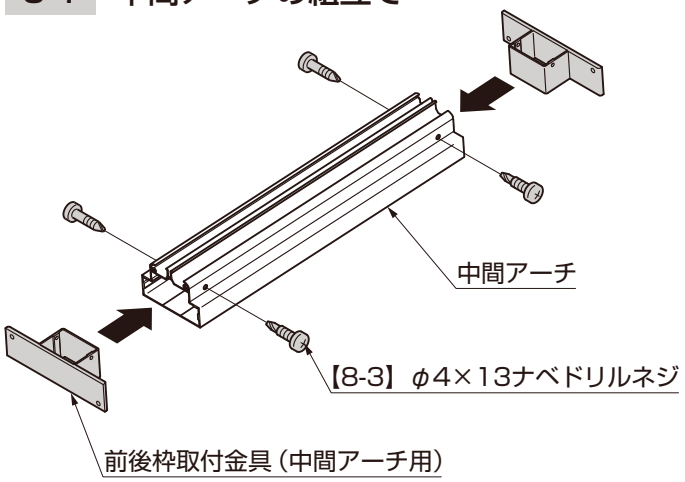
水下側

【8-3】φ4×13
ナベドリルネジ

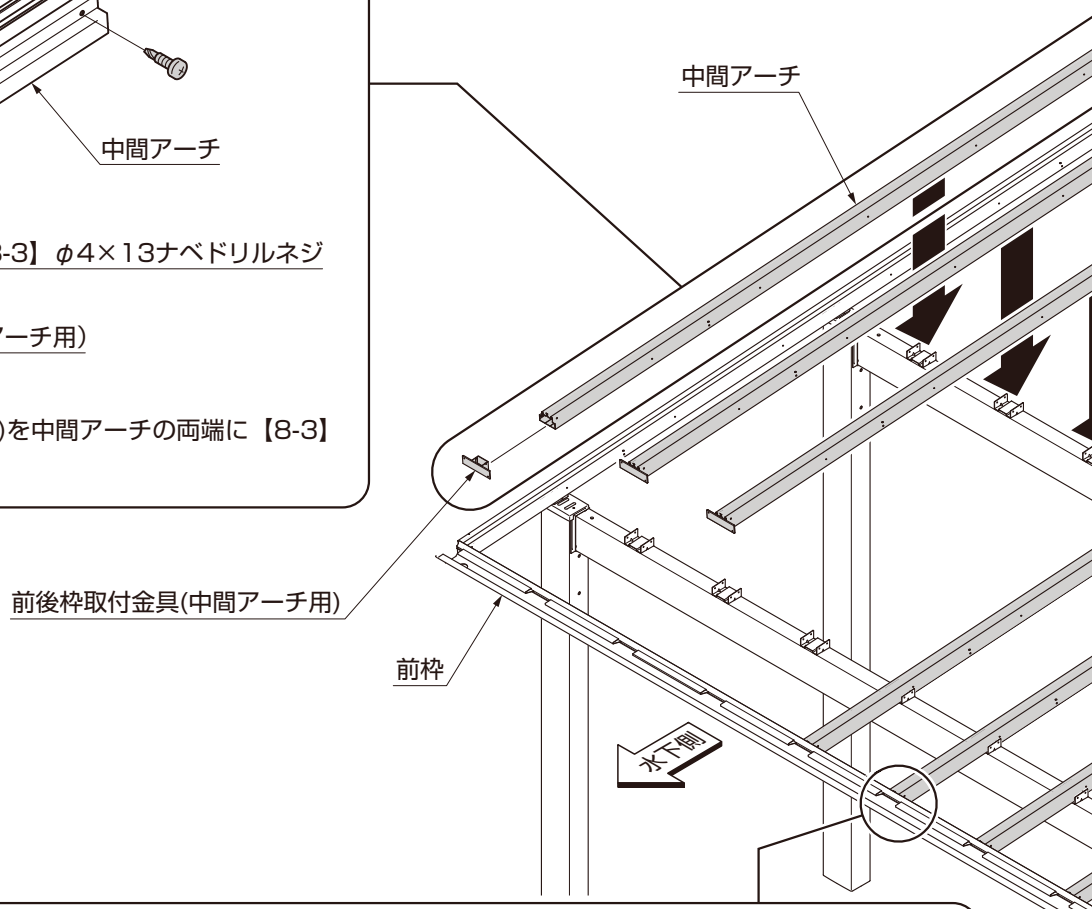
①前枠を端部アーチに差込み、【8-3】で固定してください。
②後枠を端部アーチに差込み、【8-3】で固定してください。

# 6. 中間アーチの取付け

## 6-1 中間アーチの組立て




①前後枠取付金具(中間アーチ用)を中間アーチの両端に【8-3】で取付けてください。

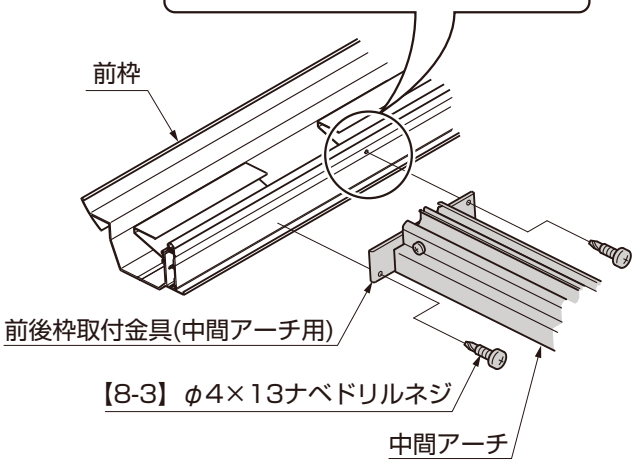



## 6-2 中間アーチの取付け（前枠側）

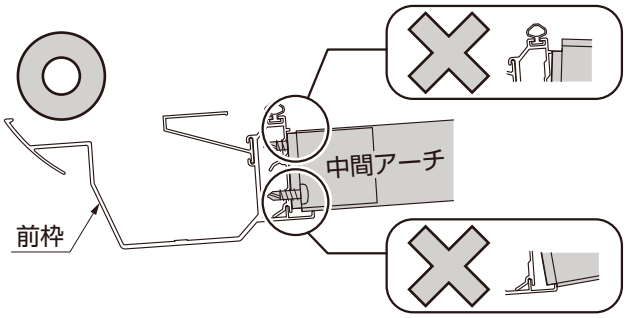
②中間アーチを前枠に【8-3】で取付けてください。

**ポイント**

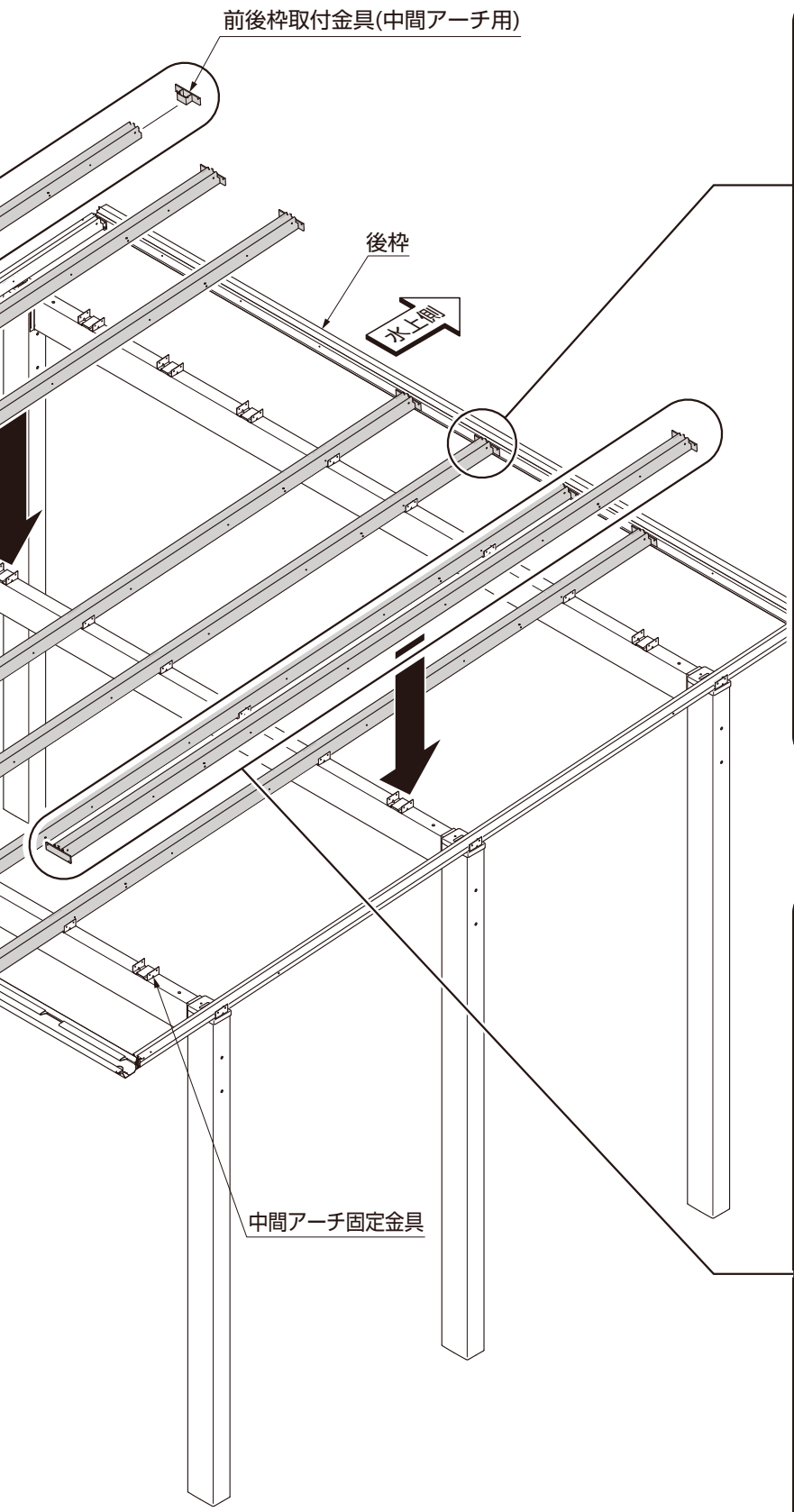
●前枠の下穴は片側(上段の穴)のみあいています。




**ポイント**



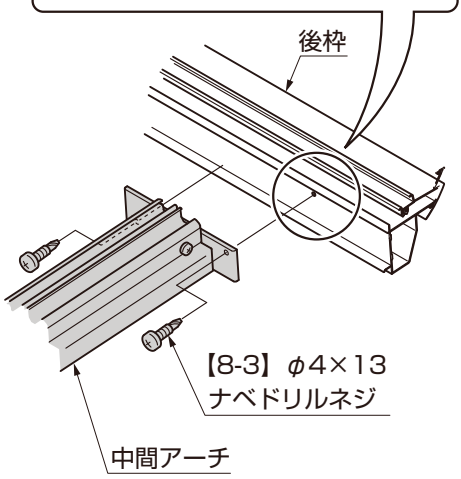

●前後枠取付金具(中間アーチ用)を取付ける際は、前枠のフィンに乗り上げないようにしてください。
●中間アーチの小口が前枠のフィンに引っ掛からないようにしてください。




## 6-3 中間アーチの取付け（後枠側）

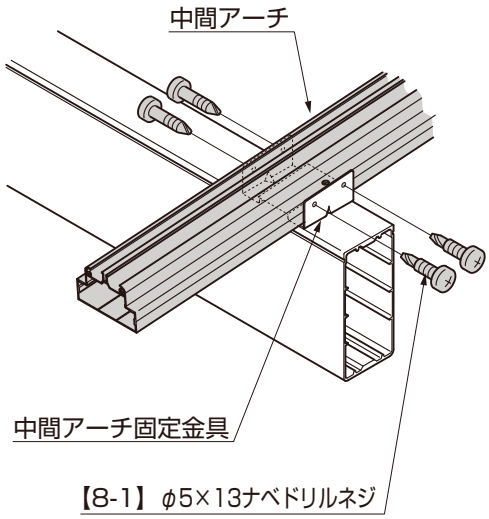
**ポイント**

●後枠の下穴は片側(上段の穴)のみあいています。




②中間アーチを後枠に【8-3】で取付けてください。

## 6-4 中間アーチの固定




③中間アーチを、中間アーチ固定金具に【8-1】で固定してください。

# 7. 前枠コーナーキャップ、中骨の取付け

## 7-1 前枠コーナーのシーリング

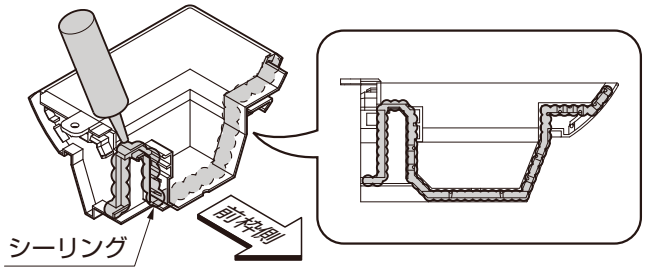



図7-1　前枠コーナーキャップのシーリング個所

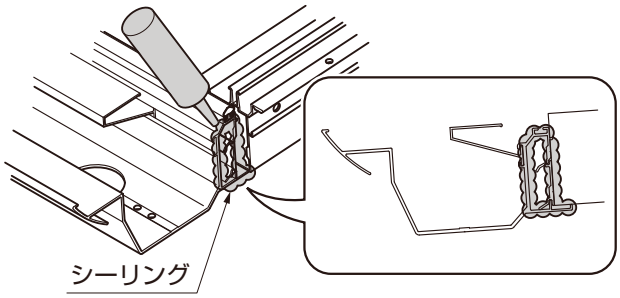
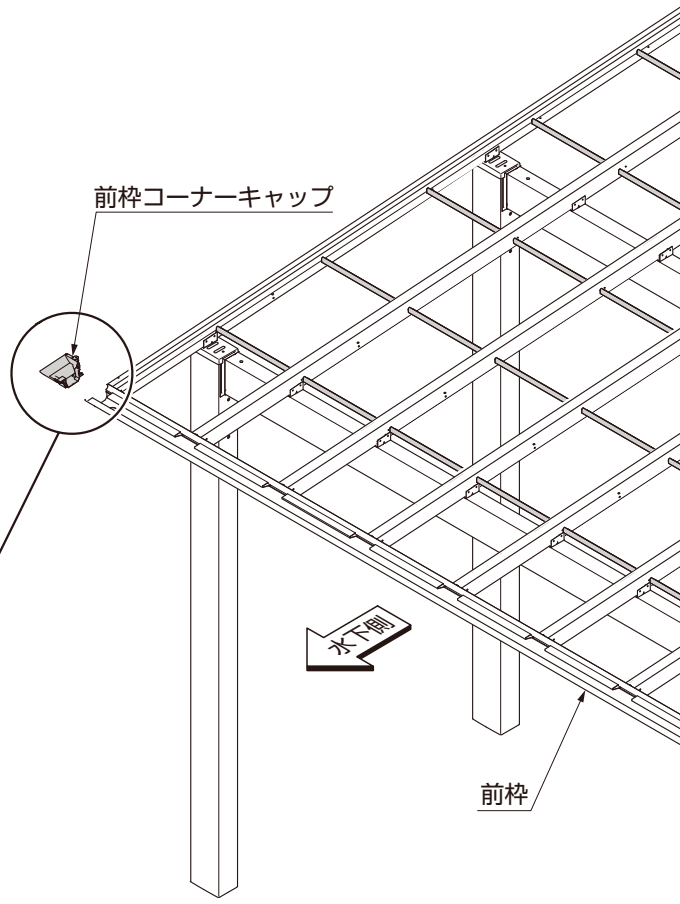



図7-2　前枠のシーリング個所

①前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。
②前枠の端部にシーリングをしてください。

**ポイント**

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。




## 7-2 前枠コーナーキャップの取付け

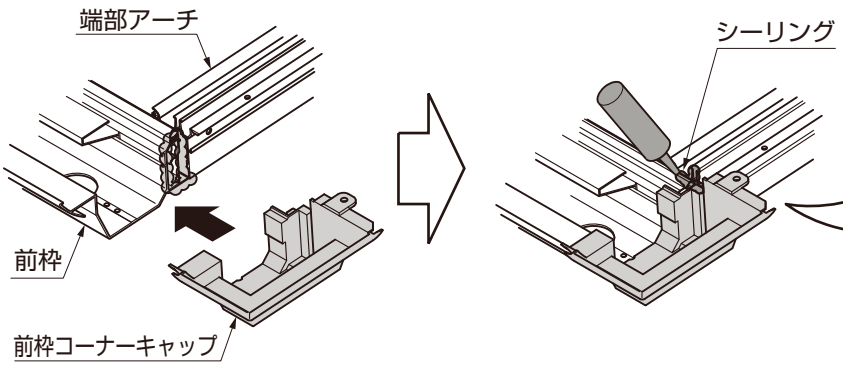



図7-3　前枠コーナーキャップの取付け

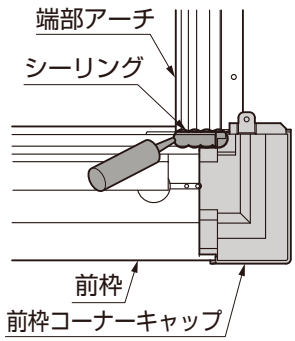
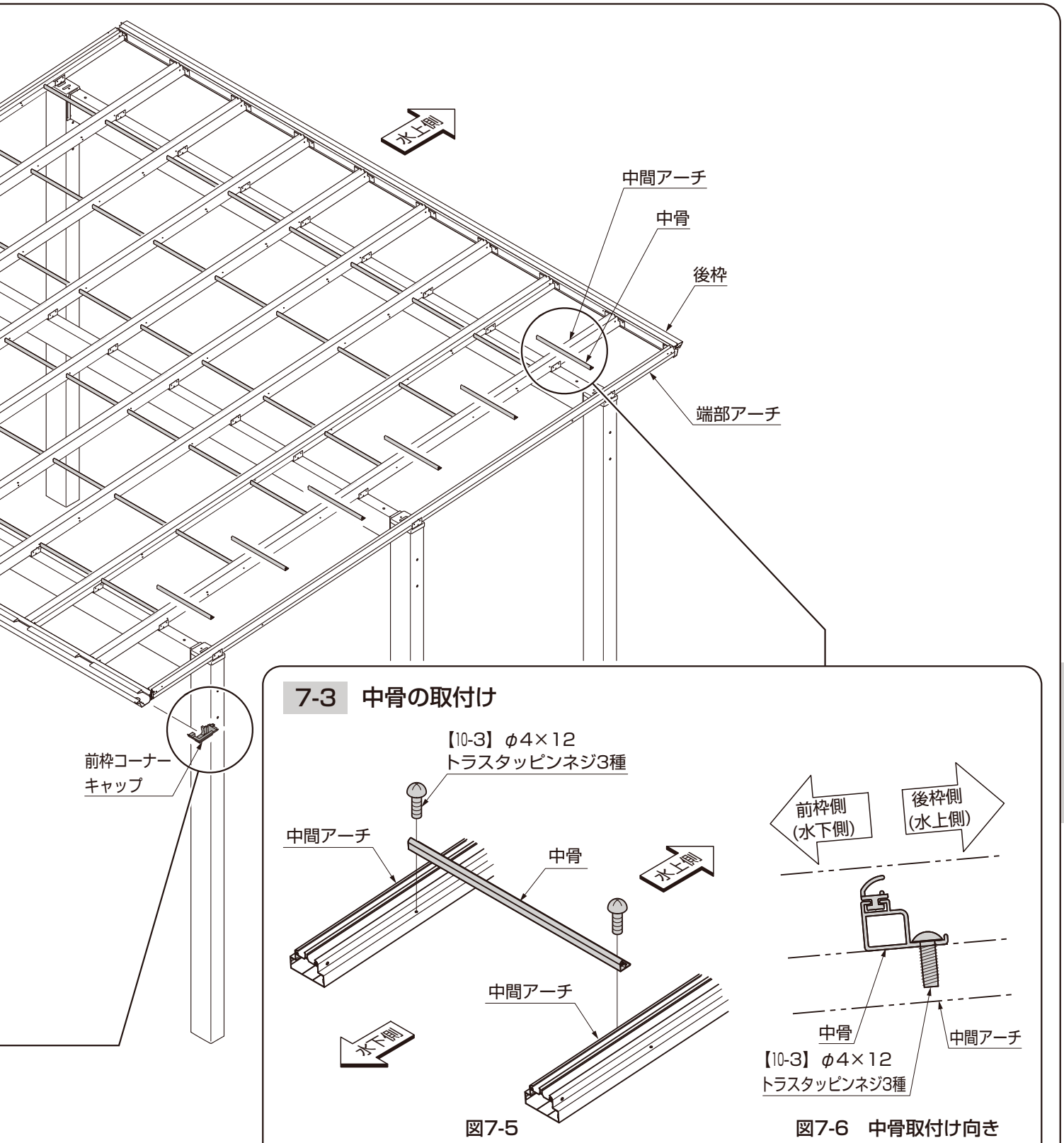



図7-4
キャップ取付後のシーリング

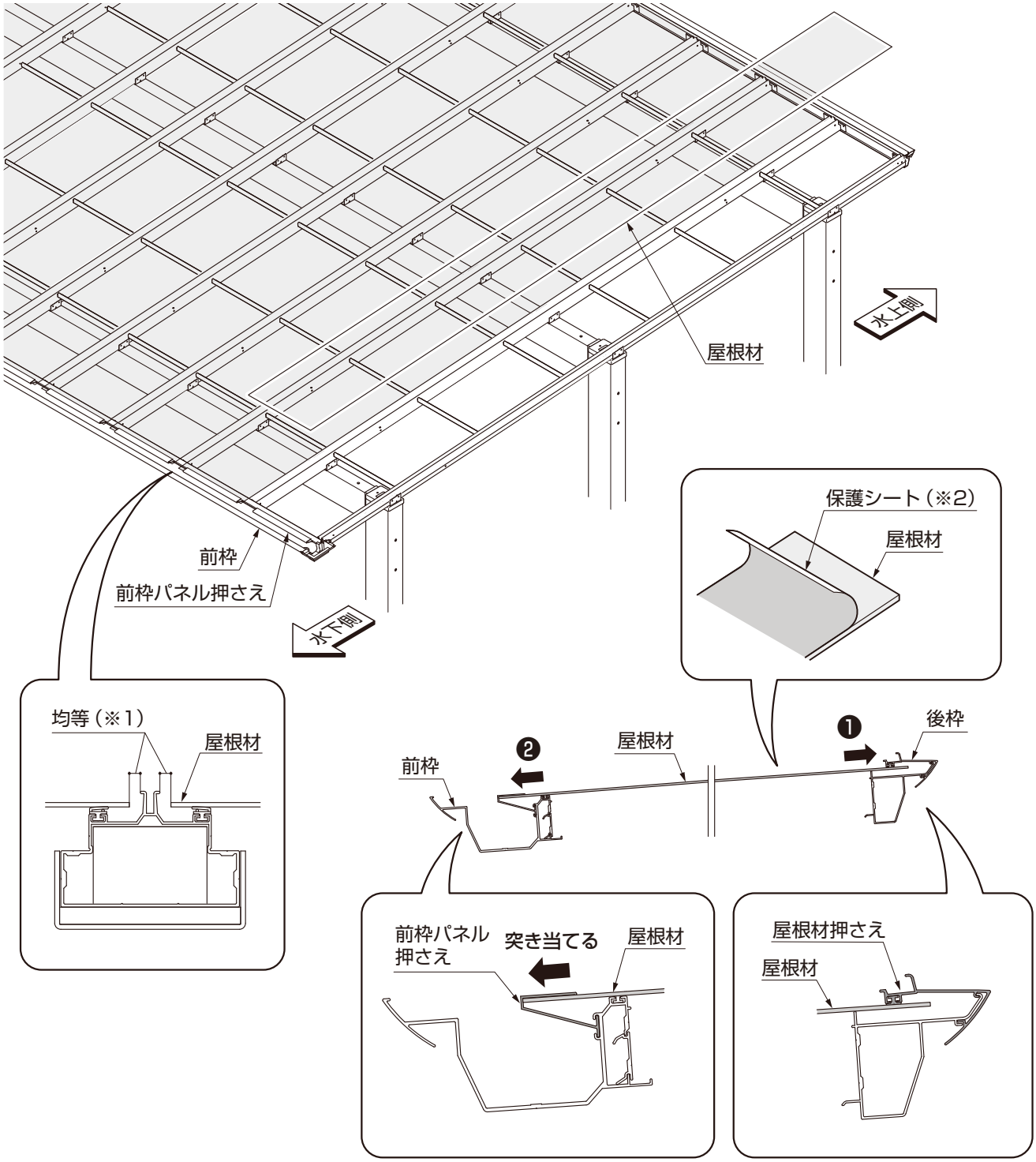
①前枠コーナーキャップを前枠に挿入してください。
②前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

**ポイント**

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。


水上側
中間アーチ
中骨
後枠
端部アーチ
前枠コーナー
キャップ
7-3 中骨の取付け
【10-3】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
中間アーチ
中骨
水上側
中間アーチ
水下側
前枠側
(水下側)
後枠側
(水上側)
中骨
中間アーチ
【10-3】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
図7-5
図7-6 中骨取付け向き
①中骨を中間アーチ、端部アーチに【10-3】で取付けてください。
補 足
●中骨は取付け向きがありますので、向きを確認してください。(図7-6参照)

# 8. 屋根材の取付け



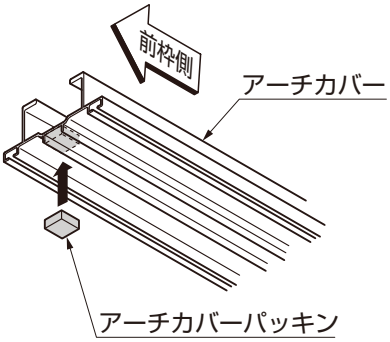

①屋根材を後枠の屋根材押さえに差込み、前枠パネル押さえに差込んでください。

**ポイント**

- ●屋根材は前枠パネル押さえに突き当ててください。
- ●アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。（※1）
- ●屋根材は必ず裏表を確認し、保護シート（※2）をはがしてから取付けてください。
- ●屋根材押さえの端部が、後枠の端部から外側にはみ出ないようにしてください。

# 9.アーチカバーの取付け

## 9-1 アーチカバーパッキンの取付け



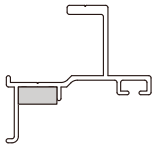



図9-1　端部アーチカバーの場合

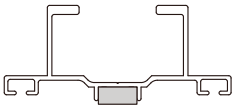


図9-2　中間アーチカバーの場合

①アーチカバーパッキンをアーチカバーの前枠側に貼付けてください。

## 9-2 アーチカバーの取付け

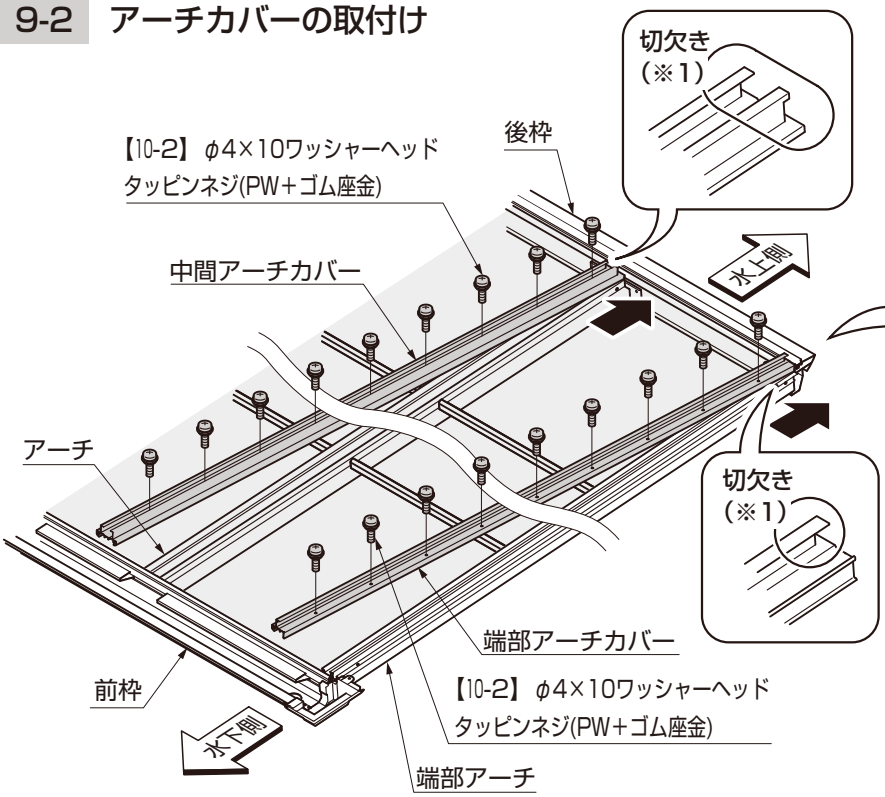
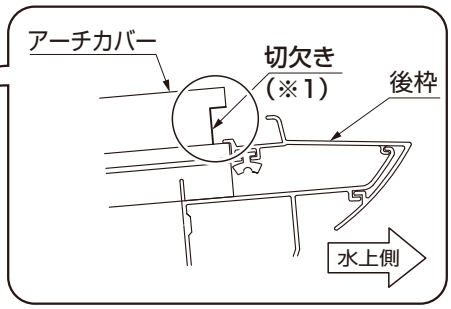



図9-3　アーチカバーの取付け

①アーチカバー、端部アーチカバーの切欠き部分を後枠に突き当てて、後枠側からアーチ、端部アーチに【10-2】で取付けてください。(図9-3参照)




**ポイント**

- ●アーチがかみ合っていることを確認してください。
- ●アーチカバーの前後を確認して取付けてください。切欠き（※1）がある方が水上側です。

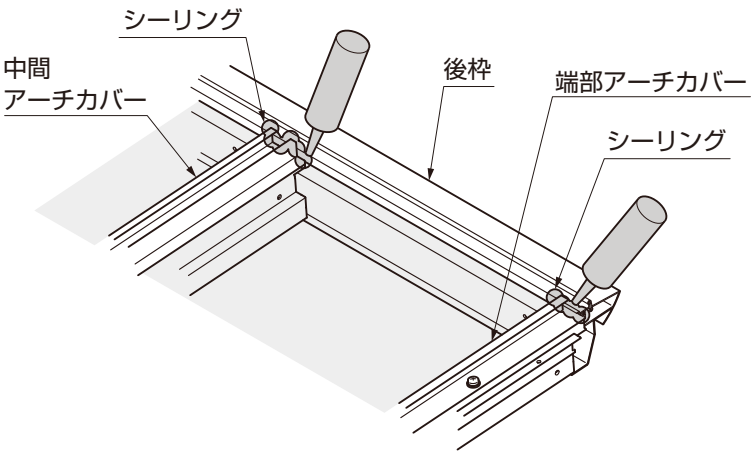



図9-4　シーリング個所

②後枠と中間アーチカバーの間、端部アーチカバーの間にシーリングをしてください。(図9-4参照)

**ポイント**

- ●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。

# 10. 端部アーチ側枠、コーナーキャップの取付け

## 10-1 端部アーチ側枠の仮置き

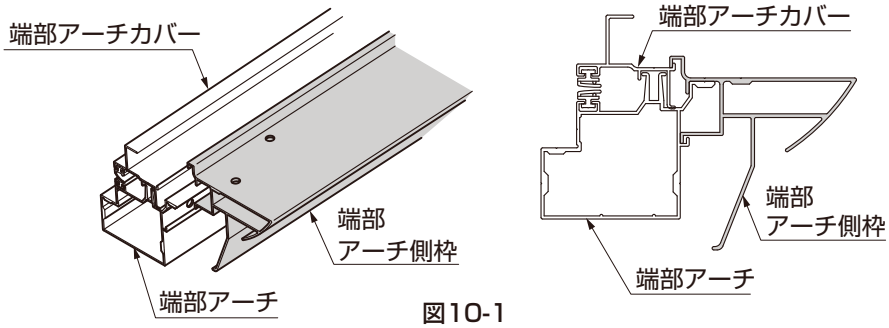
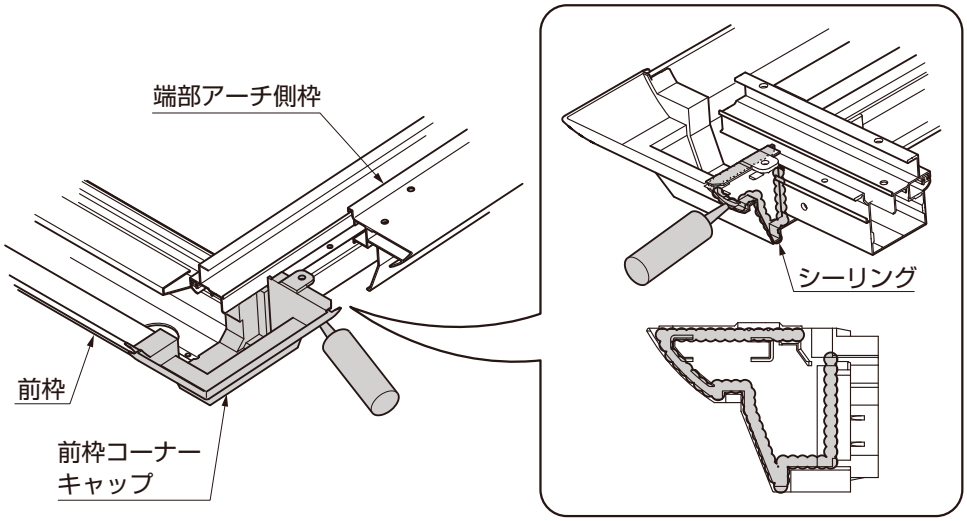
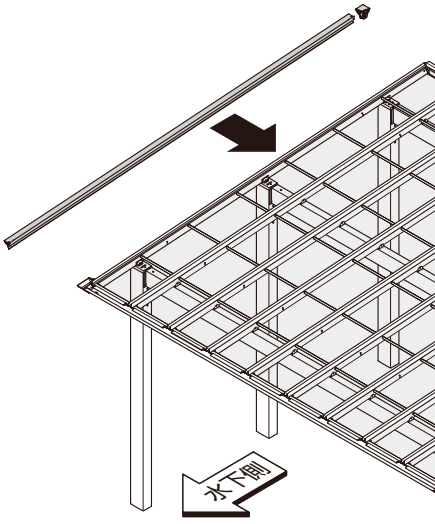



図10-1

①端部アーチ側枠を端部アーチに仮置きしてください。

## 10-2 前枠コーナーキャップのシーリング



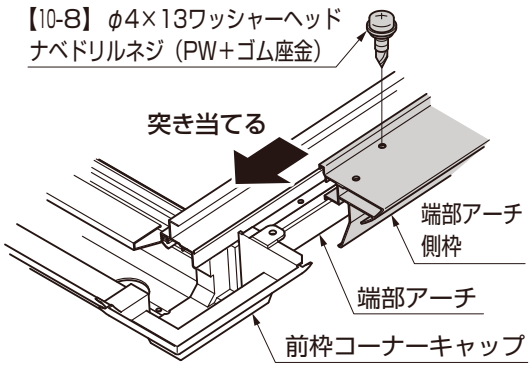



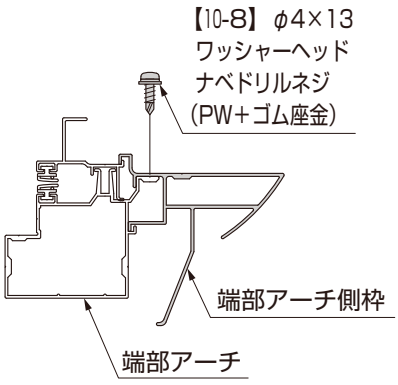

①前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

**ポイント**

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。

## 10-3 端部アーチ側枠の固定

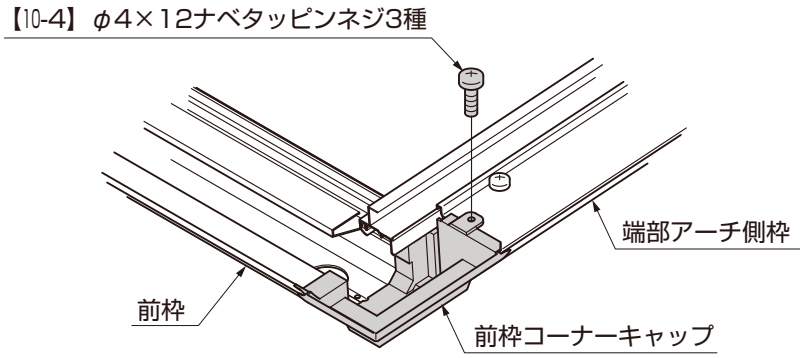


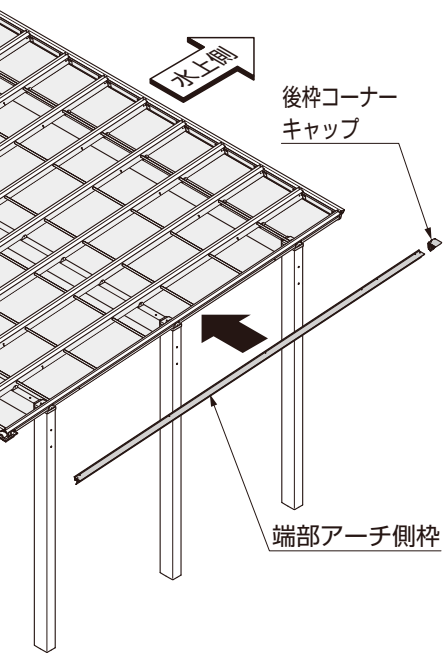

①端部アーチ側枠をずらして前枠コーナーキャップに突き当ててください。

②端部アーチ側枠を端部アーチに【10-8】で取付けてください。

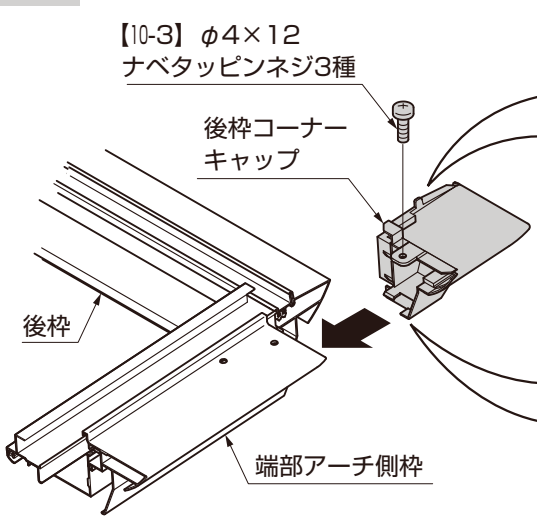
## 10-4 前枠コーナーキャップの固定




①前枠コーナーキャップを端部アーチ側枠に【10-4】で固定してください。




## 10-5 後枠コーナーキャップの取付け



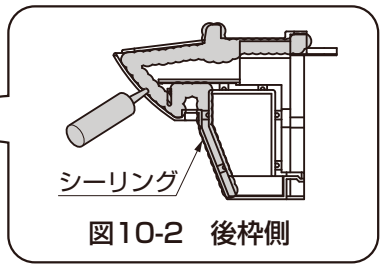




図10-2　後枠側

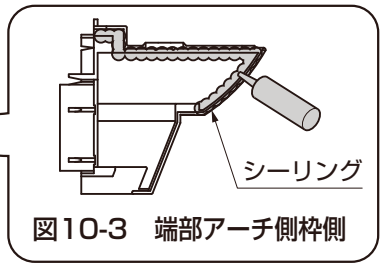



図10-3　端部アーチ側枠側

①後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。
②後枠コーナーキャップを後枠に差込み、端部アーチ側枠に【10-3】で固定してください。

**ポイント**

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。

## 10-6 前枠・後枠コーナーキャップのシーリング

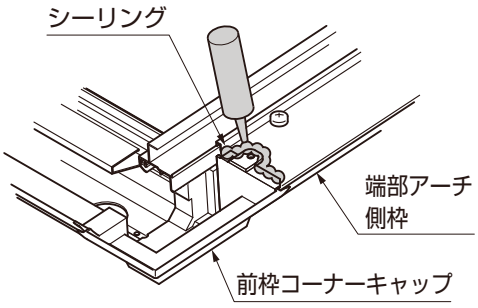



図10-4　前枠側

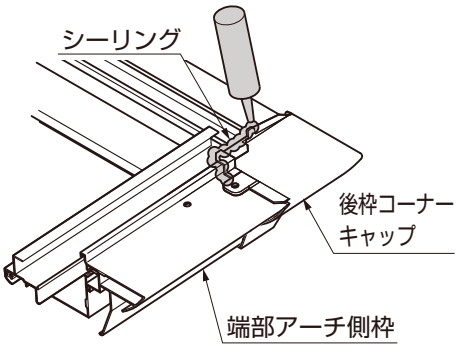


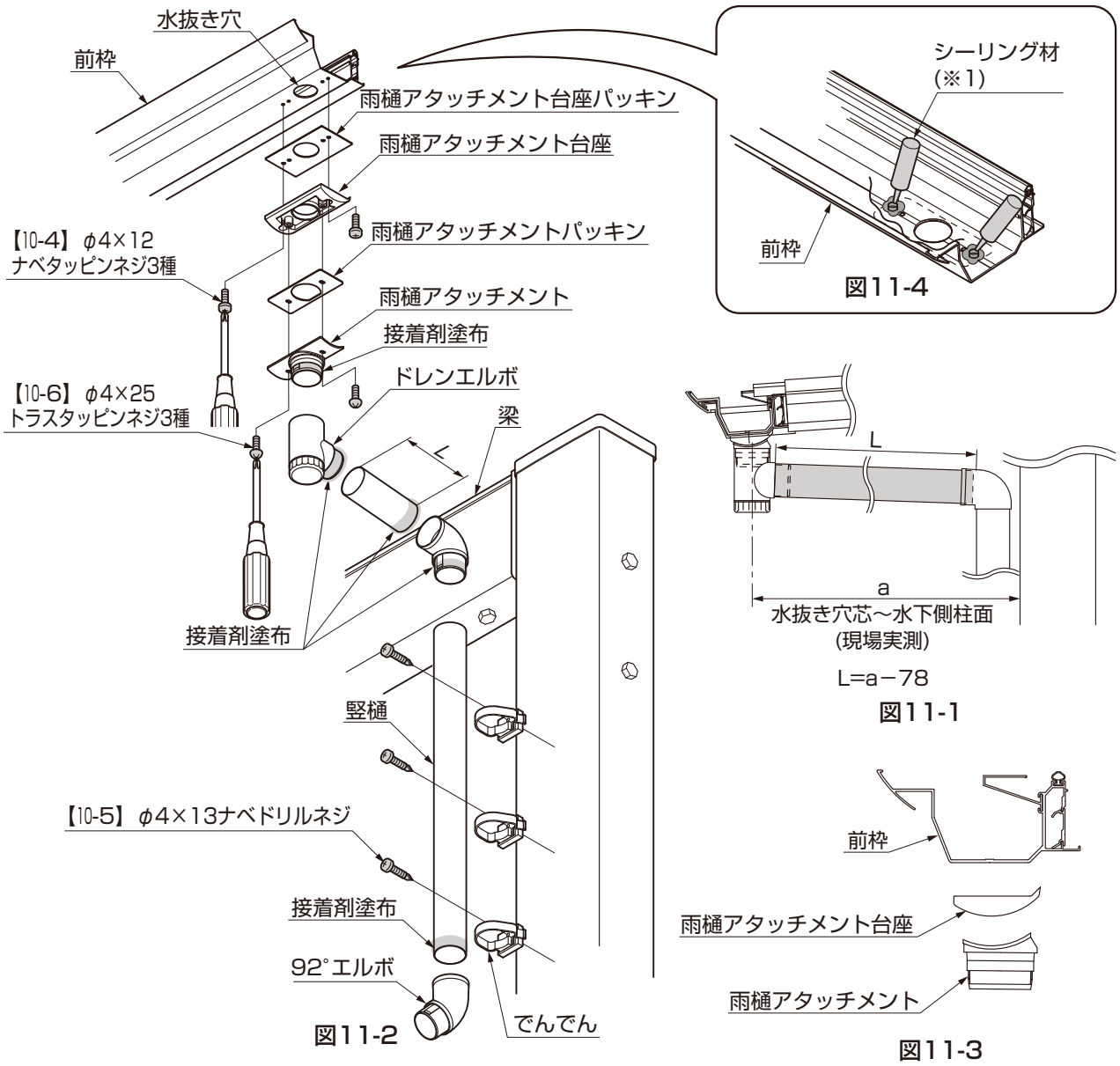

図10-5　後枠側

①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。

**ポイント**

●指定の個所には、必ずシーリングをしてください。

# 11. 竪樋の取付け




①竪樋を切断してください。(図11-1参照)

**ポイント**

●雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメントには取付ける向きがあります。(図11-3参照)

②雨樋アタッチメント台座、雨樋アタッチメント台座パッキンを前枠両端の水抜き穴に【10-4】で取付けてください。
③雨樋アタッチメント、雨樋アタッチメントパッキンを雨樋アタッチメント台座に【10-6】で取付けてください。

**ポイント**

●【10-4】、【10-6】のネジは、ハンドドライバーで取付けてください。

④でんでんを【10-5】で、ドレンエルボ、竪樋、92°エルボを接着剤で取付けてください。
⑤ネジ部にシーリングをしてください。(※1)(図11-4参照)

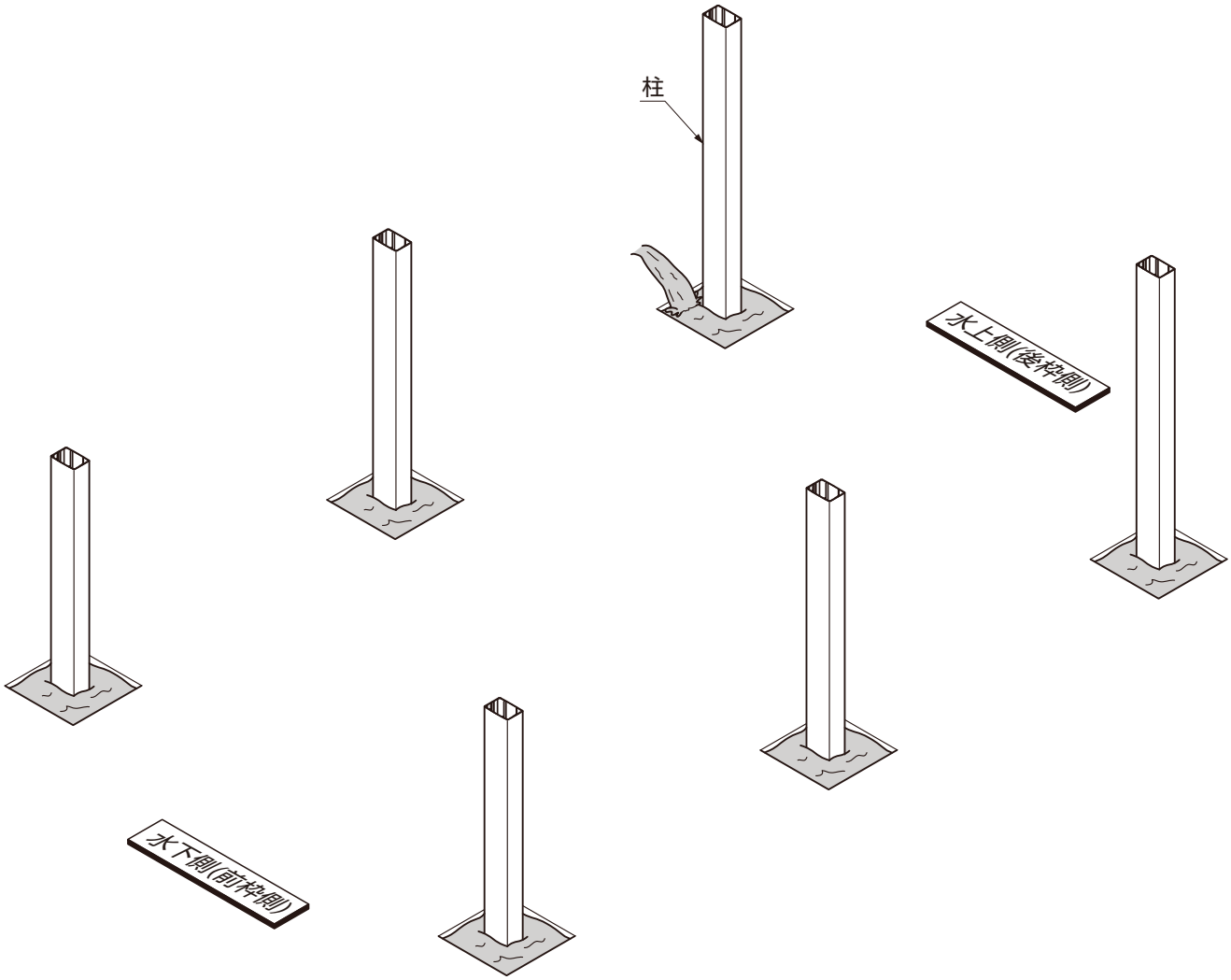
**ポイント**

●屋根角度に応じてドレンエルボが地面に対しておよそ垂直になるよう【10-6】のネジを緩めて雨樋アタッチメントの取付角度を調整してください。

# 12. コンクリートの打設

ポイント

●本作業は、架台施工後でも問題ありません。その際は必ず施工業者様に確認をしてください。




①基礎穴にコンクリートを打設してください。